



表紙、裏表紙のひまわりの絵は、「令和7年度港南区ひまわりの花 絵画コンクール」入賞作品を掲載しています。



この計画の内容は、区役所のホームページからダウンロードできます。
また、視覚障がいのある人のために、テキストデータも掲載しています。

第5期港南ひまわりプラン



事務局・連絡先

■港南区役所 福祉保健課 事業企画担当
〒233-0003 港南区港南4-2-10
TEL: 045-847-8441
FAX: 045-846-5981
Eメール: kn-tifukuplan@city.yokohama.lg.jp

■社会福祉法人 横浜市港南区社会福祉協議会
〒233-0003 港南区港南4-2-8 3階
港南区福祉保健活動拠点内
TEL: 045-841-0256 FAX: 045-846-4117
Eメール: toiwase@kounan-shakyo.jp

発行 令和8年3月

笑顔でくらせるまちをつくろう



港南 ひまわりプラン

計画期間: 令和8~12年度(2026~2030年度)

ふだんの
くらしを
しあわせに



港南区地域福祉保健推進協議会
港南区地域ケアプラザ・港南区社会福祉協議会・港南区役所

第5期 港南ひまわりプラン(港南区地域福祉保健計画)

この冊子を手にとってくださったあなたへ

この冊子を手にとってくださり、ありがとうございます。

港南ひまわりプランは、「ふだんのくらしをしあわせに」を合言葉に、地域の皆さんと一緒に、住みよいまちをつかっていくための計画です。

私たちのくらしは、地震や大雨などの災害、病気やけがによって、いつもどおりにいかなることがあります。

感染症が猛威を振るい、人々は外出を控え、人と会うことが難しくなったときなど、身近に話せる相手がいなくなり、不安を感じた人も多かったのではないのでしょうか。

そんなときこそ、声をかけてくれる人や、話を聞いてくれる人がいることで、気持ちが少し楽になることがあります。

ふだんから顔を合わせ、声をかけ合い、困ったときには助け合えることは、とても大切です。集まって話し合える場所があることで、だれもが安心してくらすまちにつながります。

地域を知り、人とつながり、できることをやってみて、支えあっていくためのヒントをぎゅっと詰めたこの冊子が、あなたや地域の皆さんの小さな一歩を後押しできたらうれしいです。



目次 — Contents —

1	港南ひまわりプランとは	1
2	第5期 港南ひまわりプラン(区計画)において目指すこと	3
	基本理念	3
	目標	3
	目標達成に向けた4つのアクション	3
	推進の主な視点	4
	第5期港南ひまわりプラン(区計画)の全体像	5
	4つのアクション「知る」	7
	「つながる」	9
	「できることをやる」	11
	「支えあう」	13
	推進の主な視点の取組「地域づくり」	15
	「安心・安全」	16
	「環境・文化」	17
	「協働・参画」	18
	「健康づくり」	19
	港南ひまわりプラン推進の取組	21
3	第5期 港南ひまわりプラン(地区別計画)について	27
	上大岡・大久保最戸・笹下・日下・日野・日野第一・港南台・永野・野庭団地・野庭住宅・下永谷・永谷・芹が谷・ひざり・日野南	
4	第5期 港南ひまわりプラン(区計画)ができるまで	89
5	第5期 港南ひまわりプランの推進について	94
6	港南ひまわりプランの成長記録	95
7	地域ケアプラザ	96

※見出しを除き、この冊子の中では、第5期港南ひまわりプラン(第5期港南区地域福祉保健計画)を「第5期計画」と表示しています。第4期計画等も同様です。

※「障害」の表記について、第3期計画から制度や組織・団体の名称など固有名詞として使われる場合以外は、「障がい」と表記することとしています。第5期計画においても継承していきます。

1 港南ひまわりプランとは

1 港南ひまわりプランって?

誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるよう、一人ひとりが意識し、お互いに支えあえる関係の充実を目指し、区民の皆さん・活動団体・行政等が協力して、地域をみんなでもっと良くしていくための計画です。

「港南ひまわりプラン」は
港南区地域福祉保健計画の
愛称だよ!

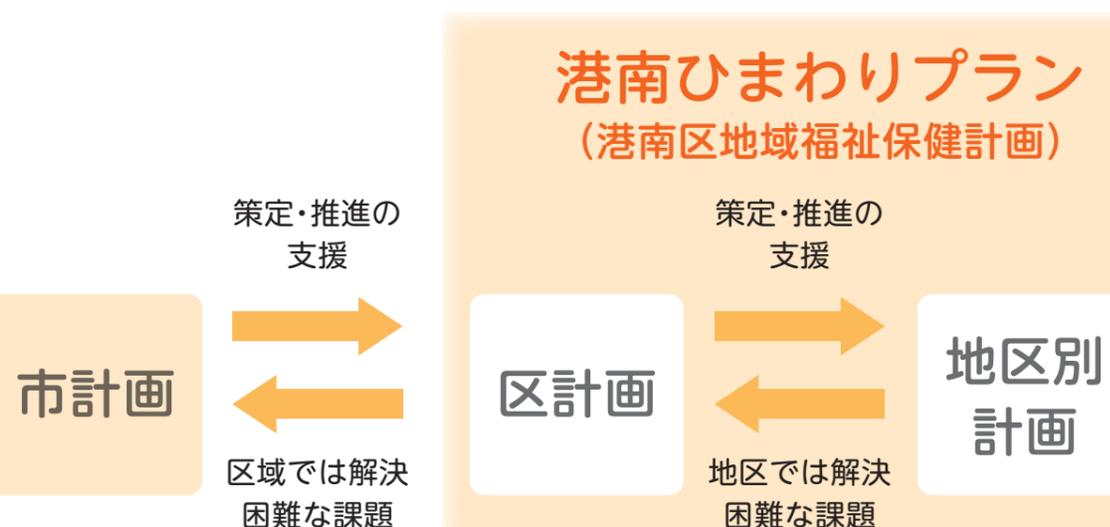


この計画は、福祉・保健に関する活動だけではなく、防災・防犯、まちの美化活動や地域のお祭り・イベントなど、日常的な地域活動のすべてを対象としています。

そして、地域のつながりや支えあいの充実に向けた取組内容を示し、誰もが自分のこととして考え、できることから始めるためのいわば「道しるべ」として位置づけています。

※地域福祉保健計画は、社会福祉法(第107条)によって、市町村が策定することとされています。横浜市では、全市域を対象とした「横浜市地域福祉保健計画」と区の特性に合わせた「区地域福祉保健計画」を策定しています。また、区内の地区別の課題に対応するため、地区が主体となり推進する「地区別計画」を協働で策定しています。

地域福祉保健計画の概念図



2 なぜ、港南ひまわりプランが必要なの?

「地域のつながり」や「支えあい」を深め、一人ひとりが身近な地域で安心して健やかに暮らしていくためには、区民の皆さん・活動団体・行政等が協働でより良い地域づくりを進めていくことが求められます。

そのため、それぞれができることを考える機会をつくり、取組を行っていくためにも計画は重要な役割を担っています。

背景

高齢社会の急速な進展やライフスタイルの多様化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。また、いわゆる8050問題やひきこもり、ヤングケアラー、貧困問題、災害対策、新たな感染症への対応など、生活課題は複雑になり、地域のつながりは希薄化しています。

社会の変化に対応すべく、公的サービスや民間サービスは充実してきていますが、これらと合わせて、人と人との関係や区民の皆さんの助け合いで、地域を支えていく共助の仕組みが必要です。

3 どのように、港南ひまわりプランの内容を進めていくの?

区民の皆さん・活動団体・行政等が、港南ひまわりプランの目標に向かって、それぞれの立場でできることを連携・協力して進めていきます。



2 第5期 港南ひまわりプラン(区計画) において目指すこと

1 基本理念 …………… ▶▶ ふだんの 暮らしを しあわせに

港南区では、第1期計画(平成18~22年度)から「ふだんの暮らしを しあわせに」を基本理念としてきました。第5期計画においても、この基本理念を継承し、誰もがしあわせに暮らせる地域をみんなでつくりだすことを目指します。



2 目標 …………… ▶▶ 笑顔でくらすまちをつくろう

笑顔



地域の中で誰かと出会い、知り合う中で共感し、自分ができることに取り組み、みんながお互いに思いやり、支えあうことができるまちとして、誰もが笑顔で暮らすことのできるまちを思い描いています。

子どもたちの意見をもとに
誰もが覚えやすい目標としました

3 目標達成に向けた4つのアクション

知る

つながる

できることをやる

支えあう

人と人が出会い、知り合い、対話をする多くの機会を通して、新たな気づきや取組が生まれています。第4期計画で取組を進めた4つのアクションを継承しつつ、様々な人・団体の思いや活動を重ね合わせることで、目標の達成を目指します。

4 推進の主な視点

一人ひとりにとってより身近な計画となるように、また、福祉や保健の分野に限らず広い意味での計画となるように、地域で活発に行われているすべての活動が港南ひまわりプランの取組であることを示しています。

地域づくり

- 自治会町内会で行われているお祭りなどの様々な取組
- 自分の住むまちの歴史に関心を持つなど、地域を知るための取組
- できることを行うことで、自分の住むまちをより良くしていくための取組 など



安心・安全

- 地域防災拠点訓練の実施など、誰もが安心して過ごすための取組
- 登下校時の「港南ひまわり83運動」など、安全に暮らすための取組
- 防犯パトロールや消費トラブル防止の取組 など



環境・文化

- 地域の清掃活動、公園等の花壇の整備などのまちの美化活動
- 河川のクリーンアップなど、将来により良い自然環境を残すための取組
- 地域の歴史や行事など、伝統や文化を次の世代につないでいく取組 など



協働・参画

- 区民、企業、行政等と一緒に、課題解決につなげる取組
- 誰もが地域の中で、無理せず楽しく役割を持って活躍するための取組
- 地域で住み続けられるように、誰もがお互いに支えあう取組 など



健康づくり

- ウォーキングや体操教室など、地域におけるスポーツイベントの取組
- 食育や食生活改善の啓発に向けた取組
- 子どもから高齢者まで世代を超えた健康づくりの取組 など



目標

笑顔でくらせる まちをつくろう

目標達成に向けた
4つのアクションと
推進の主な視点

推進の主な視点にあるような、
様々な分野で
4つのアクションが進んでいくと、
「笑顔でくらせるまち」になるよね。

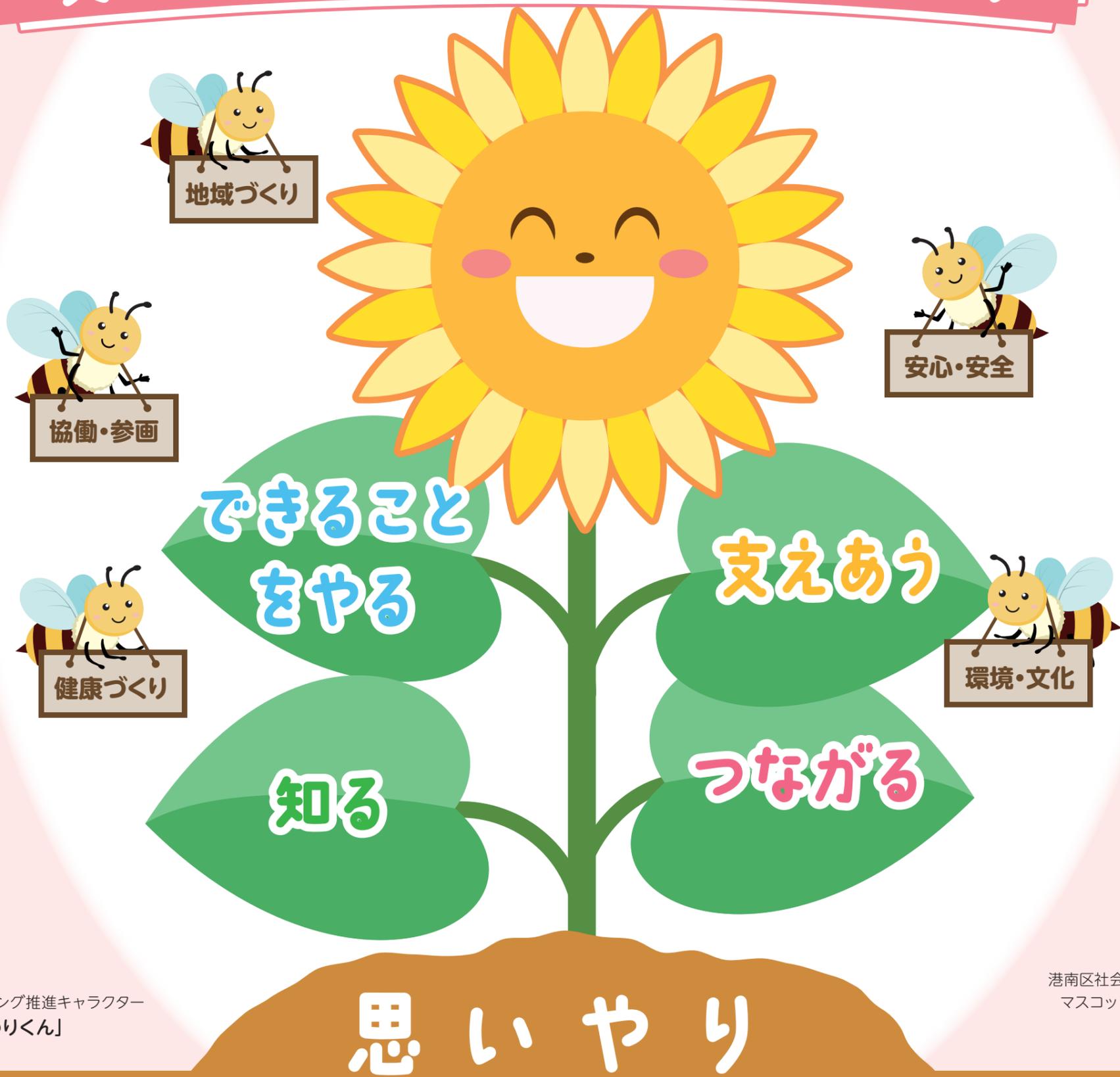


港南ひまわりプラン推進キャラクター
「こなちゃん」

推進の視点は5つに限らないよ。
新しく始まる取組も、
港南ひまわりプランの仲間だよ。



ウォーキング推進キャラクター
「ひまわりくん」



4つのアクションは、
どれがはじめてもなく、
バラバラでもなく、
お互いにつながっているよ。



港南ひまわり
83(ハチサン)運動のキャラクター
「83(ハチサン)太郎」

笑顔でくらせるまちに
するためには、
相手への思いやりが大切だね。



港南区社会福祉協議会の
マスコットキャラクター
「はむたん」

みんなの想い

- ☆地域の歴史や文化、施設や居場所など、自分たちの暮らす地域のことや、どんな人が地域で暮らしているのか知りたい、知って欲しい。
- ☆地域活動の楽しさ、やりがい、価値をみんなに気づいて欲しい。また、必要な情報や相談先が分かりやすくなって欲しい。



港南区の魅力を紹介 / まち・ひと・ダイアリー

港南区の皆さんに、このまちをもっと好きになってほしい。
港南区では、協働による地域づくりのパートナーとして、区長をはじめとする区職員が地域に足を運び、イベントや地域で活躍している人たちを、区ウェブページ「まち・ひと・ダイアリー」にて、愛♥あふれる記事でご紹介しています。

皆さんの身近な活動も掲載されていますので、ぜひご覧ください！



▲区ウェブページ「まち・ひと・ダイアリー」

5月4日 【野庭住宅地区】こどもの日イベント開催！

野庭住宅連合自治会主催の「こどもの日イベント」が、旧野庭中学校グラウンドで開催されました。当日は天気にも恵まれ気持ちの良い晴天のもと583名が来場、子どもたちのための素敵なイベントとなりました。また今回は野庭住宅地区を飛び越え、丸山台商店街、港南台自治会、上大岡第二町内会など他地区からも出店があり、大いにイベントを盛り上げていただきました。準備や運営に携わった役員の方さま、お疲れさまでした。



会場の様子。フリマやゲーム、軽食など素敵な出店がいっぱいです。



恒例の鼓楽彩（このいる）さんの太鼓の演奏もあり、楽しいイベント盛りだくさんでした。



野庭住宅地区担当 福祉保健課長、総務課統計選挙係長

後列左から 港南区連合町内会長連絡協議会 古屋会長、富岡副会長、栗原区長、山口港南消防署長、前列左から 野庭住宅連合自治会 黒川会長、野庭住宅地区社会福祉協議会 播磨会長

▲「まち・ひと・ダイアリー」掲載記事の一例

こんなことに取り組もう！

地域のことに興味を持ち、学ぶ機会を持つ。
地域のイベントや活動に参加するなど、様々な人と知り合う中で新たな気づきを得よう。また、地域の情報などを、相手に届きやすい方法で分かりやすく伝えよう。



たとえば・・・

「知る」×「地域づくり」
＝ 多様性の理解 など

- 一人ひとりの個性や違いを理解して、様々な思いを知ろう。



「知る」×「安心・安全」＝ 災害対策情報 など

- 安心して暮らせるよう、災害の備えや防犯について知ろう。

「知る」×「環境・文化」＝ 港南区の歴史や風土 など

- 港南区を大切に思えるように環境や歴史について知ろう。

「知る」×「協働・参画」
＝ 地域の活動情報 など

- このまちで活躍する様々な人や団体の活動について知ろう。



「知る」×「健康づくり」
＝ ヘルスケア など

- 健康の維持や増進、予防に関する取組や支援について知ろう。



みんなの思い

- ☆ 家族や友人、近所の人などつながりがない人が増えている。
- ☆ 誰もが気軽に参加できる場所や気軽に話せる仲間がいることが大切だと思う。
- ☆ 地域で活動している人もほかの活動者と知り合い、話し合う機会があると、新たなつながりができ、活動の元気をもらえる。



港南区民による港南区民のためのお祭り / こうなん子どもゆめワールド

「こうなん子どもゆめワールド」は、子どもたちを主役とする区内最大級のイベントです。子どもたちによるステージ発表のほか様々な団体や地域の皆さんによるブースの出店にぎわいます。



▲ゆめワールド会場

また、100人近くの区民の皆さんにより運営されており、自治会町内会をはじめとする大人のスタッフとともに、ステージの司会や出店スタッフとして子どもたちが活躍しています。



▲子どもスタッフ



▲ステージ発表

メタバース会場でも楽しめる！

スマホやパソコンから参加できるメタバース会場を開設。いろいろなコンテンツがあり、「だれでも・どこからでも」ゆめワールドを楽しむことができます！



▲こどもゆめスタジアム



▲メタバース会場



◀メタバース作品展

こんなことに取り組もう！



地域で行われるイベントやサロンなど、様々な人が出会い、つながる機会をつくろう。また、誰もが参加しやすい環境を整えよう。一緒に活動する仲間だけでなく、世代や分野、団体を越えた仲間とのつながりも意識しよう。

たとえば・・・

➤ 「つながる」×「地域づくり」
= イベント・サロンへの参加 など

- 人々が集まる場所に参加して地域の誰かとつながろう。



➤ 「つながる」×「安心・安全」
= あいさつ運動 など

- あいさつを通じてご近所や地域と顔見知りになろう。



➤ 「つながる」×「環境・文化」
= 清掃活動・花壇の整備 など

- 身近な活動に無理なく参加して地域を知りつながろう。



➤ 「つながる」×「協働・参画」 = 趣味や特技を生かせる場への参加 など

- 同じ思いや活動をしている人たちとつながろう。

➤ 「つながる」×「健康づくり」 = 健康に関するイベントへの参加 など

- 離れた場所でもウェブを通じて一緒に健康づくりに取り組もう。

できることをやる

みんなの想い

- ☆自分ができると、楽しく取り組むことが大切だと思う。
また、一人ひとりが役割をもって地域活動に参加できるといい。
- ☆誰かの支えを必要とする人でも、誰かを支えることもできることを知って欲しい。
- ☆地域の情報を、自分から受け取ろうとすることや、困ったときにまわりに助けを求めることも大事だと思う。



健康アクションこうなん5 / ふだんのくらしをけんこうに

健康寿命の延伸を目指し、「健康アクションこうなん5」の合言葉のもと、5つの生活習慣病予防分野に沿った健康づくり活動を推進します。

あるこう！毎日

日常生活でこまめに体を動かすことを意識し、座りすぎに注意しよう。外出ができる人は、まず歩いてみましょう。



食べよう！野菜

野菜は1日に350g以上食べ、塩分を控えよう。



まもろう！歯

毎食後、正しいお口のケアをし定期的にかかりつけ歯科医による歯のチェックを受けよう。



なくそう！たばこの煙

自分にあった禁煙方法を見つけるために医療機関・福祉保健センターで相談を受けてみよう。



やすもう！しっかり

起きる時間は休日でも同じ時刻にしよう。就寝前はスマートフォン等で明るい光を浴びすぎないようにしよう。



こんなことに取り組もう！

自分・家族の将来や健康について考える機会を持ち、できることから始めてみよう。

自分が暮らしている地域の情報をキャッチして、イベントなどに参加してみよう。また、自分の経験やできることを生かして、誰もが地域で活躍できる機会をつくろう。



たとえば・・・

▶ 「できることをやる」×「地域づくり」
= まわりの人への気づきや配慮 など

- 自分の思いを伝えることや相手の思いを理解しよう。



▶ 「できることをやる」×「安心・安全」
= 消費トラブル防止の取組 など

- 周囲の人と気にかけてあい、消費トラブルの防止に努めよう。



▶ 「できることをやる」×「協働・参画」
= 食品ロスの削減 など

- フードドライブなど食に困っている人を助けられる取組に参加しよう。



▶ 「できることをやる」×「協働・参画」= 交流の場への参加 など

- 地域や世代をこえた交流の場などへ参加してみよう。

▶ 「できることをやる」×「健康づくり」= 健康チェック・健診を受ける など

- 毎日の健康状態を把握して運動などに取り組もう。

支えあう

みんなの思い

- ☆誰もが安心して暮らせる地域をつくるために、日頃からの見守り・支えあいの活動や、自治会町内会による防犯・防災の取組が大切だと思う。
- ☆夏祭りなどのみんなが集う機会を継続していくことや地域の歴史・文化を継承すること、自然環境を守ることで住みやすい地域にしていきたい。



福祉ネットワーク / 日頃から「おたがいさま」の関係づくり

誰もが住み慣れた地域で、孤立せず豊かな人間関係に囲まれながら、地域に役割を持っていきいきと生活できることを目的にした住民同士の助け合い事業です。

地域住民一人ひとりの困りごとに耳を傾け共有し、解決に向けた検討を行い取り組むことで、お互いがつながり、寄り添う地域を目指します。

このような取組が区内全域であるのは、市内でも唯一です。無理なくできる範囲で日頃から「お互いさま」の関係づくりをしていきましょう。



こんなことに取り組もう！



まわりの人に関心を持ち、ちょっとした変化に気づこう。
日頃から声をかけ合い、顔の見える関係を築き、いざというときに助け合えるまちにしよう。
地域の行事や住みやすい環境などを次の世代につなげていこう。



たとえば・・・

① 「支えあう」×「地域づくり」
= ボランティア活動への参加 など

- 自治会町内会や地区社協の活動に参加して地域を支えあおう。



② 「支えあう」×「安心・安全」
= 見守り活動 など

- お互いを気にかける見守り活動を通じてご近所同士で支えあおう。



③ 「支えあう」×「協働・参画」
= 港南区をふるさとと思える取組 など

- 地域を愛する心を次の世代につなげていこう。



④ 「支えあう」×「協働・参画」 = こうなん災害時協働隊 など

- 地域と企業等がつながり、互いに支えあえる関係をつくろう。

⑤ 「支えあう」×「健康づくり」 = 食育や食生活改善に向けた取組 など

- 食を通じた健康づくりの意識を高めよう。

6 推進の主な視点の取組

地域づくり

子どもたちの笑顔もいっぱい

日野第一地区では、子どもたちに向けて2つのイベントを行っています。一つは日野川鯉のぼり子どもまつり。日野川にたくさんの鯉のぼりが舞い、障がい者作業所の出店をはじめ、多くのお店が出ます。令和7年には子どもたちが開くお店も出ました。もう一つのひな祭りはコロナ禍収束の頃に始まったお祭りですが、連合会館に飾られた立派なひな壇を見て、甘酒を飲んだり、楽しいイベントもある季節の行事です。どちらも地域の子どもの笑顔を見たいという地域の人々の思いが詰まった行事です。



新春恒例！港南台凧あげ大会



新春恒例の当イベントは、地域の団体や住民たちが協力して、令和2年から始まりました。毎年、多くの人々が参加し、広々とした会場が賑わっています。当日は、凧作りコーナー・昔遊びコーナー・ゲームコーナー等が設けられ、凧はその場で簡単に作れますが、自慢の凧を持参される人も多く見られます。

また、凧あげ名人やコマ回し、けん玉の達人が技を披露する場面も見ることができます。子どもから大人、高齢者まで様々な世代の人々が集まり、世代を超えて楽しく交流しています。



音楽でつながる、世代をこえたふれあいの輪

「ふれあいコンサート」は、令和7年で21回の開催を数える日限山中学校区の住民にとって、多世代が交流できる手づくりの音楽イベントです。出演者と来場者が一体となってコンサートを創り上げることで、音楽を通じた感動の共有と、小中学生から高齢者までのふれあいが生まれています。



安心・安全

～思いを共有！地域に住む誰もが安心・安全に暮らすことができる様に～ ママサロン

下永谷地区在住の個別支援学級や特別支援学校に通う児童・生徒の保護者を対象にしたサロンを開催しています。「学校のこと」「災害時の不安」「卒業後の行先」「病院のこと」「地域のこと」など気になることを話しています。本サロンでは地域とのつながりをもてる場としての役割を担いつつ、また、地域と一緒に活動の幅を広げるための意見や情報の交換を行っています。



区役所、基幹相談支援センター、生活支援センターの専門職や、特別支援学校の先生も参加しているので気になることも質問でき、参加している先輩ママさんからの体験談を聞くこともできます。地域の誰もが安心・安全に暮らしていけるように情報発信していきます。

ヘルスマイトによる「いざ食 調理実演」

災害時に役立つ食事づくりを知ってもらうため、地域防災拠点訓練の中で、食生活等改善推進委員会（ヘルスマイト）の皆さんによる「いざ食 調理実演」が行われました。訓練に参加された地域の皆さんに向けて、災害時でも手軽に作れるようポリ袋を使い、不足しがちなビタミンがとれるレシピで調理を実演されました。

災害時に戸惑わずに調理できるようにするためには、普段の食事のレパートリーとして実践しておくことが大事ですと、拠点訓練に参加された人へ紹介していました。



地域の安全のために！防犯パトロール



自治会町内会や団体等の地域の皆さんが、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、定期的に防犯パトロールを実施しています。ごみを拾いながらのパトロールやハロウィンに合わせた子どもたちも参加したパトロールなど、各地域で工夫をしながら取り組まれています。

また、10月から12月にかけて、港南警察署・港南消防署・区役所の職員が、地域の皆さんと一緒にパトロールを行っています。

環境・文化

元禄から絶やさず守る地域の誇り

元禄の頃から伝わっているという鹿嶋神社の射(まとい)。節分に上大岡駅前のビル街を、裃(かみしも)をつけた町内会長などの役員が、人がすっぽり隠れる程の張り子の射を持って神社まで練り歩きます。



的に書かれた文字は鬼。神社境内に運ばれた的に向け、年男である小学5年生や会長が矢を射、最後にその的に火を放ちます。

心の中に潜む鬼を射抜き、平和な一年を祈り執り行われる、地域の人が「ふるさと上大岡」の思いを込めて大事に守っている行事です。

地域の力で「まち」をきれいに！



笹下地区は毎年連合・地区社協の行事として、近隣の中学校・青少年指導員・スポーツ推進委員・環境事業推進委員・資源循環局・土木事務所など様々な機関と協力して大岡川のクリーンアップを行っています。中学生を中心に、最近ではWEB申し込みの一般参加者も一緒に活動をしています。

若い世代やこれまで地域行事を知らなかった新しい人にもイベントに参加してもらうことで、「地域」を知り、関心をむけて地域行事への参加につなげています。



～世代を超えてまちをきれいに～ クリーンスポーツ大会

平成22年から開催をしているクリーンスポーツ大会。毎年2月に開催しており、ごみのない、きれいなまちづくりのため、地域の皆さんが、スポーツ感覚で参加をしています。ごみを拾いながら分別し、制限時間内にゴールである芹が谷南小学校を目指します。

大会当日は子どもから高齢者、学校や福祉施設、行政等から多くの人々が参加しており、地域の世代を超えた様々な人々が交流を図りながら楽しんでいます。大会を通じて、まちの美化や住民同士のつながり、地域への関心にもつながっています。



協働・参画

私のしあわせ、みんなのしあわせ —永野地区から育てる地域の未来— 「永野地区全体会議」

永野地区では、よこはま地域福祉研究センター長の佐塚玲子氏を招き「実現しよう！人と地域と私のシアワセ～今、永野地区みんなの声、未来を描こう～」という講演を全体会議で行いました。グループに分かれ、「今、私のシアワセ&私の心配」「永野地区のこども・若者たちは護られている?」「人生100年時代永野地区の高齢者の暮らしを守るために必要な事」という3つのテーマを参加者80人で話し合いました。活発な意見交換から、たくさんの意見がでました。

誰もが住み慣れた地域で安心して楽しく生活できるよう、地域をみんなにより良くしていくために話し合いを行っています。



～自分たちのまちの事を みんなで考えよう～ 芹中1年生との支えあいネットワーク

永谷地区では地域住民や小中学校の先生、福祉施設や商店を招いて支えあいネットワーク(意見交換会)を実施しています。令和6年度は「子どもたちの声を聞こう」をテーマに芹が谷中学校1学年全員と支えあいネットワークを開催しました。そこでは子どもたちが地域のイベントのお手伝いをしたいとの意見が多くあり、地域に対して関心を持っていることが分かりました。



その後、支えあいネットワークを通じて、どのような取り組みなら一緒にできるか考えた結果、永谷連合の夏祭りの中で中学生が運営するブースを設けることとなりました。当日は10人以上の子どもたちが運営し、地域のお祭りを大いに盛り上げました。



つながりがつながりの輪を育む 坂のまちの交流会

令和4年、地域の商店・事業者を知ってもらうきっかけになればと、楽しみながらまち歩きをして店舗を回る「坂のまちのハロウィン」を行いました。笑顔が溢れて、素敵な交流の機会になりました。これが「坂のまちの交流会」の出発点です。そして翌年の春、まちのてっぺんにある日野南公園で「坂のまちのフェスティバル」を開催しました。地域のお店や事業所、フリーマーケットや得意を活かしたい住民によるワークショップや歌・劇などステージ・・・イベントを行うたびに、関わる人、担い手が増え、楽しいまちづくりの仲間が増えています。



健康づくり

① ～歩いて見つける日下の魅力～「日下みんなでウォーク」

日下のまちには、知れば知るほど惹かれる歴史がたくさんあります。そんな魅力を若い世代にも伝えていきたい——そんな地域の人々の思いからスタート。年齢問わず誰でも気軽に参加できるようにと、委嘱団体の人々が中心となり、「日下と言えばウォーキング」と言われるような、地域に根づいた活動へと育てていきたいという思いも込められています。

ウォーキングを通じて「健康づくり」にもつながるだけでなく、日下の古きを訪ねながら、参加者同士の自然な「交流」が生まれ、世代を超えた「つながり」が広がっていくのもこの活動の魅力。地域に根づく活動として、少しずつ形になり始めています。



② みんなで健康チェック！ ひまわり健康フェア



港南区保健活動推進員会では11月の第1土曜日に実施されるひまわり健康フェアで健康測定ブースを出展しています。血管年齢測定や長座体前屈、手腕作業測定、握力測定による健康チェックのほか、がん検診啓発も実施しています。

健康チェックには子どもや働き世代、高齢の人まで幅広い世代の人にご参加いただき、非常に大盛況です。

測定が終わると結果を一緒に確認し、地域で実施している体操教室などを紹介するといった、健康づくりのサポートも欠かしません。

地域の皆さんの健康維持を目指してこれからも活動していきます。



③ 未来の歯と口を育む地域の力 ～歯科医師会と地域協働～

港南区では毎年6月、「歯と口の健康週間」にあわせて、歯科医師会や地域の皆さんと協力しながら、楽しく健康づくりを進めています。

乳幼児の歯科健診やフッ素塗布に加え、保護者向けの健康チェックや食育体験も同時開催。野菜の摂取量アップを目指した啓発も行い、親子で参加できる内容が盛りだくさんです。



予約なしで気軽に立ち寄れる工夫もあり、働く世代や子育て中の人にも好評です。地域みんなで、未来の笑顔を育てています。



自立への一歩、地域とともに ～生活困窮者自立支援制度のご紹介～

生活困窮者自立支援制度は、「制度のはざま」にいる人々を支えるために作られました。失業や病気、家族の問題など、さまざまな理由で生活に不安を抱える人が、孤立せず、自分らしく暮らせるように支援する制度です。

港南区では、相談窓口で一人ひとりの状況に寄り添いながら、就労支援や家計改善支援、住まいの確保など、本人の希望や状況に応じた「伴走型支援」を行っています。

相談者からは「誰にも頼れないと思っていたけれど、話を聞いてもらえてホッとした」「少しずつでも前に進めるようになった」「自分のことを否定されない場所があると知って安心した」といった声が寄せられています。また、「長く就職できずに悩んでいたが、支援員と一緒に準備を進める中で、ようやく働く一歩を踏み出した」との声もありました。



こうした支援は、多くの場合、地域の人々の見守りや周囲の人々からの相談の後押しによって、支援のきっかけが生まれ、前に進む力につながっています。小さな一歩が、大きな変化につながるように、今後も、誰もが安心して暮らせる地域づくりを、皆さんとともに進めていきます。

子どもを取り巻く状況を知っていますか？

子どもをめぐる課題は、貧困、いじめ、虐待、孤立、教育格差、不登校など多岐にわたります。また、本来大人が担うとされる家事や家族の世話などを行うヤングケアラーの問題など新たな課題も見つかっています。



複雑化、多様化する課題に対して港南区では子どもの支援を行う団体を中心に専門職も参加する「不登校・ひきこもり連絡会」を開催しています。

子どもたちの現状を知り、私たち一人ひとりができることを考え、支援の輪を広げていきましょう。



7 港南ひまわりプラン推進の取組

桜と水辺がつなぐ、多世代交流の場

下永谷地区の春の風物詩「平戸永谷川さくらまつり」は、地域住民が長年手入れを重ねてきた桜並木のもとで開催されます。川の清掃や桜の管理を担う水辺愛護会をはじめ、町内会・自治会・地域団体・学校など多様な主体が連携し、出店や演芸披露を通じて世代を超えた交流が生まれる貴重な機会です。

小学生による総合学習の発表の場ともなっており、水辺を起点とした活動を通じて地域の自然や環境への理解を深めています。子どもから高齢者まで、多世代が関わり合い、地域の絆を育む行事として親しまれています。



「やってみよう」が、まちの未来を創る



新世代創造ミーティングは、地元の高校生と大学生による企画を考えるグループです。令和6年度は「自分たちも学びたい!」という共通の思いから、防災をテーマに企画を考えました。「小学生のうちから防災について考えてほしい」という願いを込めて、楽しく学べる『こどもクイズラリー』を開催。



新世代創造ミーティングのロゴは美術部の中学生が制作。



学生のうちから、楽しみながら地域に貢献することで、将来の地域の担い手となるきっかけにもつながるかもしれません。新世代のひらめきが、まちに新しい風を吹き込んでいます。

港南よこはまメディカルフェスティバル

地域で青少年指導員として活動している医師が発起して令和6年から開催している医療福祉啓発コンテンツ。地域住民に今後向き合う健康・病気などの課題やいのちの大切さを知ってもらう、またその健康課題への解決方法を学び、今後起きる問題に行動でき、起きる前に準備を備えるようになるための知識を身につける機会です。子どもたちには体験や



イベントを通して、今後の社会問題を考えるきっかけを提供し医療だけではなく、その根本となるいのちの大切さへの関心を高めてもらう機会としています。区内外の医療・福祉団体が賛同し毎年、様々なコンテンツを発表しています。



オレンジリボンたすきリレー

子どもたちの明るい未来と子ども虐待防止の願いを込めた「オレンジリボンたすきリレー」も令和7年に第17回を迎えました。都心・川崎、横須賀・横浜、湘南の3コースで、ボランティアがゴール地横浜を目指して、オレンジリボンのたすきをつけて走ります。

港南中央地域ケアプラザも第10回から中継点として参加し、イベントに参加してくれる人々と一緒にランナーにエールを送ってきました。「オレンジリボン」について多くの人に知っていただき、子育て支援の協力者が増えることを願っています。



子どもたちの安全のために

子どもたちの安全を守るため、学援隊など地域の皆さんが、登下校の見守り活動をしています。日々、通学路に立ち、あいさつや声かけをしながら、子どもたちを温かく見守っています。

また、港南区では子どもたちを見守る環境づくりとして、「港南ひまわり83運動」を地域全体で進めています。



港南ひまわり83(ハチサン)運動

「犬の散歩やお買い物、家の周りのそうじなど、外での用事を小学生が登下校する時間帯(8時頃と3時頃)にしよう」というもの。

「こどもまんなか社会」の実現を目指して

横浜市は、横浜のすべての子どもたちが、地域のかかわりの中で、豊かに育ち、あたたかな社会をつくる原動力となるよう、また、心身の状況や置かれている環境等に関わらず、一人ひとりの健やかな育ちが等しく保障される「こどもまんなか社会」の実現に向けて、取り組んでいます。

その取組の一つとして、「こどもが意見を表明する機会の確保」があり、子どもが対象となる様々な施策・事業において、子ども自身の意見を聴き、その意見を反映させるよう努めています。

この「港南ひまわりプラン(第5期港南区地域福祉保健計画)」においても、子どもも含め区民の皆さんから意見募集を行い、計画に生かしています。



～ハートでつながる～ ハート de 交流ポッチャ

大久保最戸地区では、①乳幼児を持つ親子、②高齢者、③障がい児・者を対象として、年間3つの「ハートカフェ」が開催されています。令和6年度は、障がい児・者を対象としたカフェの代わりに、ポッチャを通じた交流会「ハートde交流ポッチャ」が、初めて開催されました。開催にあたっては、地区社協の人が、大久保最戸地区にあるすべての障がい事業所等に出向き、ご案内をしました。

当日はご参加いただいた皆さんと、ポッチャを楽しんだあとは、お茶とお菓子で労い合い、お話に花が咲いていました。直接訪問・お話することで、その後の活動にもつながるなど、この活動を通じて、交流が深まっています。



安心を届ける見守り活動

民生委員・児童委員は、地域の皆さんが安心して暮らせるよう、日々見守り活動を行っています。高齢者や子育て家庭、障がいのある人など、支援が必要な人々に対して、定期的な訪問や声かけを通じて、孤立の防止や早期の支援につなげることを心がけています。ちょっと



した変化や困りごとに気づき、必要に応じて行政や関係機関と連携し、地域全体の福祉向上に貢献しています。顔の見える関係づくりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる、温かい地域づくりを目指して活動を続けています。



スポーツを通して広がる交流



日野地区では、日頃より各自治会町内会でグラウンドゴルフやモルックが盛んに行われていますが、「日野地区シルバー友愛スポーツ交流会」では港南北公園を会場に年2回ずつ大会を実施し毎回約60人が参加、町会対抗や混合チームで交流を楽しんでいます。休憩タイムも、おしゃべりやボードに貼られた標語を話題に盛り上がります。また、それぞれの町会のイベントで地域の人、子どもたちと一緒にグラ

ウンドゴルフ、モルックを楽しんだり、日野中央公園で定期的に開催される「モルック体験会」の指導をするなど、スポーツを通じた交流の場づくりに積極的に取り組んでいます。



こうなん来夢

「こうなん来夢」は、港南区にある障がいのある人の仕事や活動の場である福祉事業所の集まりです。それぞれの事業所では手仕事で生み出される優しい雑貨、心をこめて焼き上げたパンやお菓子、味わい豊かなお弁当等魅力あふれる製品作りに日々取り組んでいます。

来夢では製品の販売を通じて地域の皆さんと温かな交流を育んでいます。港南区役所や区内の商業施設等で販売会を開催し、訪れる人々との会話や笑顔があふれる場になっています。年に1度の来夢マルシェは多くの人が開催を心待ちにしています。

お近くで「こうなん来夢」の販売会を見かけた際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。きっと、あなたの「好き」が見つかるはずです。



障がいのある方や福祉事業所職員による「障がい理解」の取組

障がい理解・啓発のために、各地域で様々な取組が行われています。例えば、見た目では分からない障がいを理解するための講演会、映画を見るだけでなく監督の思いも聞いた映画上映会、障がい福祉事業所の利用者・職員による郵便局職員やスーパー従業員に向けた研修会など。また、子どもたちに向けた、障がい福祉事業所によるワークショップも開催されています。



こうした講演会やワークショップでは、障がいのある人も講師として活躍しています。

地域の人が
主催した
障がい理解の講演会



成年後見制度をご存じですか？～あなたの権利を守るために～



成年後見制度とは認知症や知的障がい・精神障がい等の理由で判断能力が不十分な人に代わって、家庭裁判所に選ばれた成年後見人等がご本人の意思を尊重しながら預貯金や不動産等の財産を管理したり、介護や医療、福祉サービスの手続きや契約をしたり、日常生活上の様々なサポートをしてくれる制度です。

制度利用に関する相談は、地域ケアプラザ・基幹相談支援センター・区社会福祉協議会あんしんセンター・区高齢・障害支援課までお問い合わせください。

また区役所では、弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士等の専門職から、対応困難事例に対してアドバイスをもらい、成年後見制度の普及啓発を推進する「成年後見サポートネット」を実施し、地域における権利擁護支援の充実に取り組んでいます。



ふるさとのば福祉の集い ～ポッチャとレクリエーションによる交流～

野庭団地地区社会福祉協議会と野庭団地連合自治会の共催で、「ふるさとのば福祉の集い」を開催しています。

令和7年度はポッチャとレクリエーションという内容で、ポッチャは、試合に出ている選手も観戦者も会場内は、熱気に溢れ、大変盛り上がり一体感も感じられました。レクリエーションでは、手遊びやゲームを通して参加者同士笑顔が溢れました。



地域の居場所「地域食堂・子ども食堂」を知っていますか？

食を通じて、地域の子どもや大人が集まりホッとできる場所としての「子ども食堂・地域食堂」の活動が広がっています。誰かと一緒に食事ができるこの取組は孤食を防ぎ、人とつながることができる場として、地域に欠かせない活動となっています。

港南区では「子ども・地域食堂連絡会」を開催し、衛生について学びや各団体の取組について共有し、安全に安心して活動ができるように取り組んでいます。

まずはご近所の地域食堂・子ども食堂に参加してみましょう。



～モノだけじゃない、つながりをお届け～ お渡し会



野庭住宅地区社会福祉協議会主催、家計応援として、お渡し会が定期的に行われています。マスクなどの日用品や、お米や菓子類など食料品も用意し、住民にお渡しをしています。集会所でのお渡しのほか、集会所でのお渡しに難しい人へは自治会の人々がお届けをすることも行っています。野庭住宅地区の皆さんに、大変喜ばれている取組の一つとなっています。



移動販売 ～地域をつなぐ買い物支援～



港南区では、高齢者など買い物が困難な人々を支えるため、地域と民間事業者が連携した移動販売を支援しています。単なる買い物の利便性だけでなく、販売員や近隣住民との交流による見守り効果、外出のきっかけづくり、買い物を楽しむことによる介護予防など、多面的な効果が期待されています。

地域の声をもとに販売場所の調整や事業者とのマッチングを区、区社協、地域ケアプラザがサポート。地域のつながりを大切にしながら、持続可能な支援を目指しています。

「自分サイズ」で始める地域参加 ～ボランティア展&相談会開催～

令和7年9月18日・19日、港南区役所1階区民ホールにて「自分サイズのボランティア展&相談会」を開催しました。地域ケアプラザの活動紹介や、生活困窮者自立支援制度の案内、ひきこもりをテーマにした映画上映などを通じて、「自分が得意なことや好きなこと」が誰かの役に立ち、地域とつながる力になることを知る良いきっかけの場となりました。



来場者からは「自分にもできることがあると感じた」「地域との距離が縮まった」といった声が寄せられ、誰もが無理なく地域参加し、人と人とのつながりが少しずつ広がっていく可能性を感じる2日間となりました。今後も、こうした取組を続け、地域の中で支えあえる関係づくりを育んでいきたいと考えています。

学び舎ひまわり

現在地域で活動している人が「協働による地域づくり」をさらに進めていけるよう、様々な方面から地域づくりについて考えていく場、それが「学び舎ひまわり」です。平成25年にスタートし、現在卒業生は300人を超えています。

開校10周年を迎えたことを機に、協働による地域づくりの輪を広げるため、港南区内の地域企業にお勤めの方も対象にしました。

講座ではまち歩きや地域活動事例の検証、マイプラン(いつか実現したい取組)の作成などを行い、講座を通して受講生同士のネットワークも形成されています。



第5期港南ひまわりプラン (地区別計画)について

地区別計画とは、区内15の連合自治会町内会・地区社会福祉協議会の地区で、それぞれの地域課題に対応するために、地区が主体となり区や区社会福祉協議会、地域ケアプラザなどが協働して策定・推進する計画です。

地域特性に応じた地区の目標などについて、地域の皆さんが検討を重ねながら策定しました。

第5期計画は、区内15の地区の「地区別計画」と区域の「区計画」で構成され、区全体で取組を進めていきます。



第5期 上大岡地区地域福祉保健計画
令和8年4月～13年3月(2026～2030年度)

港南
ひまわり
プラン

つながりあい・支え合える まちづくり

「みんな」が住みつづけたいま「かみおおおか」

「かみおおおか」のまちは、昔と今で大きく変化してきましたが、「みんな」の願いは、このまちがいつまでも住み続けていたいまちであること。「かみおおおか」がそのようなまちになるように、地域の「みんな」の思いを集めて、このひまわりプランができました。

上大岡 いま・むかし

むかし



鹿嶋神社を望む(明治36(1903)年頃)
(「港南の歴史」より)

いま



オフィスタワー12階より同方向を撮影(令和7年)

むかし



京急上大岡駅構内(昭和26(1951)年)
(桜岡小学校所蔵)

いま



京急上大岡駅構内の同方向を撮影(令和7年)



災害時に犠牲者を出さない、強い『かみおおおか』

地域活動が活発で、元気な『かみおおおか』



防災訓練に参加しよう

各家庭での備蓄を進めよう

連合盆踊り

鹿嶋神社的射

「みんなが
住みつづけたいまち
かみおおおか」

安心して、健康で豊かに暮らせる『かみおおおか』
～見守り・支え合い～

イベントいっぱい楽しいね!



上大岡地区福祉ネットワーク
"ちょこっと"した困りごとをお手伝い
ちょこボラ上大岡

「ちょこボラ上大岡」って？ 上大岡地区（上大岡1～3丁目・上大岡4～6丁目）にお住まいのみなさんへ。ちょこっとした困りごとを、地域のボランティアがサポートする活動です。困りごとの解決だけでなく、地域の絆を深め、助けあえる関係が築けることにより、安心して暮らすことができるようになります。

利用対象は、上大岡地区の住民や、近隣の住民（1世帯あたり1名まで）です。（※利用可能な人数は異なります）

～お困りごとの相談を受け、ボランティアによる実施、または専門機関につなぎます～

◎利用の流れ ◎活動の費用
お困りごとの相談 → ボランティアの募集 → 活動の実施
お困りごとの相談 → ボランティアの募集 → 活動の実施

項目	内容	金額
基本料	お困りごと・相談	300円
基本料	お困りごと・相談	50円
基本料	お困りごと・相談	300円
基本料	お困りごと・相談	200円
基本料	お困りごと・相談	300円
基本料	お困りごと・相談	500円
基本料	お困りごと・相談	500円

0～15時 16時以降もボランティアも同時募集!

リハビリ教室

ちょこボラ上大岡



こども神輿 & こども山車

グラウンドゴルフ大会

無理なく
楽しく
参加

「みんな」が住みつづけたいまち
「かみおおか」

募集中

取組に参加してみませんか

町内会ボランティアや 登下校の見守りをしてみませんか！

上大岡連合町内会では、お手伝いいただけるスタッフが不足しています。
地域の発展や、住民の交流を深めるために、皆さんのお力を貸していただけませんか！
地域のボランティア活動を、一緒に支えてくださる方を募集しています。

お試し参加、大歓迎です!!

地域のつながりを
大切にしたい方



上大岡の行事、
イベント、伝統文化に、
興味のある方



上大岡の防災に、
関心のある方



忙しくても、
少しの時間に、ボランティア
したい気持ちのある方



「子ども会」に
参加してみたい方



きれいな上大岡、
安心安全な上大岡に、
尽力いただける方



「おやじの会」に
参加してみたい方

上大岡地区社会福祉協議会
「ちょこボラ上大岡」で
お手伝いできる方



- 上大岡第一町内会 TEL:045-844-0490
- 上大岡第二町内会 TEL:045-842-1784 e-mail:kamioka2@cotton.ocn.ne.jp
- 上大岡第三町内会 e-mail:kamiookadai3@gmail.com
- 上大岡第四町内会 上大岡連合町内会(上大岡第二町内会)にお問い合わせください
- 上大岡平和台自治会 上大岡連合町内会(上大岡第二町内会)にお問い合わせください

*なお、上大岡第二町内会の執務日は、月曜日、水曜日、金曜日の10時から14時です。
*ご自身が、どこの自治会町内会のエリアに住んでいるのかわからない場合は、港南区役所地域振興課 (TEL 847-8391)へお問い合わせください

【発行】
上大岡連合町内会
上大岡地区社会福祉協議会

【お問合せ先】
港南中央地域ケアプラザ
TEL:045-845-4100
FAX:045-845-4155

令和8年3月発行



令和8年4月～13年3月
第5期 大久保最戸地区地域福祉保健計画

住民が共生する 和みのまち

わたしたちの大久保最戸地区
ハートのあるまちづくり計画



写真:上大岡の高層ビルより大久保最戸方面を望む(中央の大きな緑地が神奈川県戦没者慰霊堂)

大久保最戸地区の「ハートのあるまちづくり計画」は、連合町内会・自治会や地区社会福祉協議会、
地域の皆さん一人ひとりの参加をもとに、活動・取組を進めていきます。

大久保最戸地区について

5つの自治会町内会(大久保東町内会・中町内会・西町内会・最戸町友会・さつき台自治会)で構成されています。
昔ながらの人情味あふれるまち。歴史もある一方、上大岡駅へのアクセスが良く、若い世代も多い地域です。
「車の両輪」のように、連合町内会が地域生活全般を支え、地区社会福祉協議会が福祉面を支えています。

連合町内会・自治会

複数の町内会・自治会が集まってできた組織
です。町内会同士が協力し、防犯や清掃、環境
整備、地域イベントなどを通じて、みんなが安心
して暮らせるまちづくりを進めています。

大久保最戸地区 総人口:17,278人(令和7年3月現在)

地区社会福祉協議会

地域住民や福祉団体、社会福祉施設、民生委員
などが集まったネットワーク組織です。

「自分たちの地域は自分たちで良くしていこう」と
いう思いで、子育て支援や健康づくり、日常生活の
助け合いなどを、町内会やボランティアの協力で
行っています。

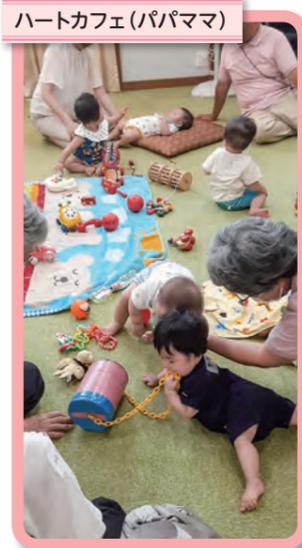
【発行】大久保最戸連合町内会・大久保最戸地区社会福祉協議会 【協力】東永谷地域ケアプラザ・港南区社会福祉協議会・港南区役所
【問い合わせ先】東永谷地域ケアプラザ ☎045-826-1097

令和8年3月発行

こんな
大久保最
した
戸地区に
い!



こども神輿



ハートカフェ(パパママ)



オーバーナイトキャンプ



ハートカフェ(ポッチャ)



SOSネットワーク活動



学び応援隊

- ♥地域の活動を知り参加してみる
- ♥美しい景色や歴史など
まちの自慢を伝えていく
- ♥ゴミのないきれいなまちをつくる



大岡川クリーンアップ



ゴミ拾い運動

ハートの
ある
まちづくり

一人ひとりが
自分の暮らす
まちへの興味を
持とう

あいさつが
できるまちを
つくろう

安心安全の
魅力ある
まちづくりを
すすめよう

- ♥子どもたちの
笑顔を守り、育てる
- ♥地域に暮らす
誰もが居心地の良い
まちをつくる
- ♥世代をこえて
楽しく交流する

- ♥日頃から見守りや、声かけができるまちを目指す
- ♥身近なところから防災・防犯活動に取り組む
- ♥一人ひとりが支え合い、地域の輪をつなげる



大久保イブニングフェスタ



笑話会



赤い羽根共同募金 街頭募金



防犯パトロール

「ありがとう」で つながる大久保最戸

最戸エリア

- ① 早朝の散歩に最適。
- ② みなとみらい21地区が見える。
- ③ 140段の階段。見晴らしがよい。京急電車が見える。
- ④ 尾根道。朝日がきらびやか。
- ⑤ 桜がきれい。



大久保エリア

- ⑥ 川沿いにぐるっと散歩。両側にサギとカルガモがいる。
- ⑦ かながわ平和祈念館には先の大戦の資料が展示してある。
- ⑧ 夏祭り・盆踊りの模擬店が楽しみ。神輿も出る。
- ⑨ 大久保、最戸両町の氏神様(青木神社)。
- ⑩ ランドマークタワーがきれいに見える。
- ⑪ 畑の下の紅梅、白梅、しだれ桜。
- ⑫ 健康になれる町、さつき台(坂が多い)。
- ⑬ 坂の途中のお花で、ほっとする。
- ⑭ 横浜港の花火が見える。音は遅れて聞こえる。
- ⑮ 富士山がよく見える。



その他エリア

- ⑯ しだれ桜がきれい。
- ⑰ 桜並木がきれい。



「わたしのふるさと・笹下」

～ 楽しく暮らす、誇りに思うまち～



地域福祉保健計画・5つの取組

<p>いつも、大丈夫</p> <p>児童の登下校の見守り</p> <p>合同防犯パトロール</p>	<p>元気で長生き</p> <p>ラジオ体操</p>
<p>みんな顔見知り</p> <p>ひまわりサロン チェアヨガ</p>	<p>三世代交流</p> <p>三世代ボッチャ</p>
<p>バトンをつなごう</p> <p>大岡川クリーンアップ</p>	

「わたしのふるさと・笹下」

— 楽しく暮らす、誇りに思うまち —



テーマ	こんなまちにしたい	具体的な取組目標
<p>いつも、大丈夫 安全・安心・快適なまち</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「安全」で誰もが「安心」して快適に暮らせるまち みんなで高齢者と子ども、障がいのある方を「見守れる」まち お互いが「声をかけあい、助け合える」まち 「災害」に強いまち 	<ul style="list-style-type: none"> 各町内会の街灯、各家庭の外灯で夜道を明るく安全なまちづくり。 「港南ひまわり83(ハチサン)運動」で、登下校時の子どもを守る。 詐欺や悪質商法の被害を防ぐため、随時啓発や研修を行う。 警察などと連携し、防犯パトロールの推進・強化、犯罪のないまちづくり。 日頃から高齢者や障がいのある方・子育て中の親子への思いやりを忘れず、困った時に支え合える関係を作る。子どもから高齢者までみんなで防災訓練・イベント等に参加し、一人ひとりの防災意識を高めよう。
<p>元気で長生き みんなで健康づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 健康に年を重ねて「ほっこり」暮らせるまち 「生き生き元気」なまち 「自分の健康は自分で守る」まち 	<ul style="list-style-type: none"> 健康に年を重ね、みんなが生き生き元気で安心して暮らせる地域を目指そう。 「自分の健康は自分で守る」「家族の健康は家族で守る」習慣づくり。 身近な場所での無理のない体操に参加し、体力・筋力アップでピンピン長生き。 ラジオ体操や地域で開催されるスポーツ行事に参加して、子どもと一緒に、家族ぐるみで運動しよう。 「健康アクションこうなん5 (①あるこう!毎日 ②たべよう!野菜 ③まもろう!歯 ④なくそう!たばこの煙 ⑤やすもう!しっかり) で健康習慣を推進する。  <p>まちぐるみ健康づくり教室</p>
<p>みんな顔見知り 笑顔の見える関係づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ」を交わすまち 「向こう三軒両隣」の関係ができるまち 日々の生活を支える情報が提供され続けるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 「おはよう」「こんにちは」などの明るい挨拶が飛び交うまちづくり。 登下校の見守りのときにあいさつをして、地域のみなさんと顔見知りになる。 向こう三軒両隣の関係ができる地域を目指して、町内会に入りやすい・入りたくなるまちづくり。 隣の顔が見える地域づくりのため回覧版、町内会の広報を工夫する。 地域の行事・活動を紹介する広報紙「ささげひろば」とホームページを活用し、地域全体に発信していく。 新たに引っ越してきた方を含めて、すべての人がわかりやすいように行事の発信をしていく。 誰でも参加しやすい、参加者同士が交流できるイベントになるように工夫をする。  <p>笹下連合ホームページ</p>
<p>三世代交流 世代を超えて</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「三世代」そして様々な世代が参加・交流するまち 「ふるさと笹下」の文化を継承するまち 「まつり」のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> 「ささげ祭り」「港南桜まつり」「ささげひまわりサロン」「各町内会の夏祭り」「ささカフェ」などで多世代交流を推進する。 各町内会の子どもが参加できる行事(ポッチャ等)を企画し三世代で支援・交流する。 “三世代が参加”を目指す笹下のシンボル(文化)づくり。地域の歴史、技術など“ふるさと笹下”の文化を継承する。 大人になっても帰ってきたくなる「ふるさと笹下」へ。
<p>バトンをつなごう 次の担い手づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 今までの行事をつなぎ新たな事業のための「人づくり」 新しい感覚を持った「人材の発掘」 新たな担い手の活躍するまち 「ふるさと笹下」を育む「仲間づくり」 	<ul style="list-style-type: none"> 小・中・高校生・現役世代の方にも行事に自主的に参加できる工夫をする。 「大岡川クリーンアップ」などの地域のイベントで、中学生もボランティア活動を通して地域への参加意識を高める。 行事参加者と交流会を開催して関係を深め、次の担い手としての意識づくりを行う。 町内会のイベント参加から始まり、仲間づくりで地域を盛り上げ、人材育成をしていく。



日下はみんなが主役!

みんなで安心して暮らせるまち

日下地区では、だれもが安心して暮らし続けられる地域をめざし、この計画にまとめました。私たちが安心して暮らすためには、いつ起こるかわからない災害にも負けない地域づくりが欠かせません。そのため、ふだんから地域のことを知り、様々な活動を通じて絆を深めることが大切です。

また、知り合いが増えることは、いざという時ばかりではなく、ふだんの暮らしのちょっとした困りごとの助けあいにもつながります。



いつ来るかわからない災害に、地域で協力して備えましょう



日下小学校地域防災拠点訓練での給水訓練



ペット同行避難についての講話



福祉避難所「風の港」への搬送訓練

地域でつながる

地域の絆を大切にしましょう



ふれあい昼食会

居場所 でつながる

安心できる・人とつながる居場所を見つけましょう



子育てサロン

令和7年 笹下地区の概況

〈笹下地区の年齢別人口の比較〉

	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総人口	高齢化率
現在 (R7.3)	2,256人	13,172人	5,072人	20,500人	24.7% (区平均29.1%)
5年前 (R2.3)	2,351人	13,048人	4,977人	20,376人	24.1% (区平均28.6%)

出典：統計情報ポータル ※港南1～6丁目、港南中央通、笹下1、7丁目のデータを使用しています

笹下地区は、区役所、消防署、警察署などの公共機関が集中しており、鎌倉街道周辺は平坦ですが、その周辺は急な山坂が多い地区です。

13自治会町内会で構成され、連合、地区社会福祉協議会の活動と共に「夏祭り(盆踊り)」、「餅つき大会」は全自治会町内会で実施して活動が盛んです。

「三世代ボッチャ」、「走るカルタ大会」などの新たな取り組みや、「港南桜まつり」や「ささげ祭り」など、長く続く地域の行事も大切に、一人一人が笹下のまちを「ふるさと」と思えるように活動しています。



港南桜まつり

笹下地区の構成町会 町会数：12自治会町内会+1自治会



第5期地域福祉保健計画ができるまで

第1回地域意見交換会 (令和7年2月)

第4期計画の振り返りを行い、「これまでできたこと」「できなかったこと」「こんなまちにしたいために行う具体的な取り組み」について、意見交換を行いました。



第1回策定委員会 (5月)

第1回意見交換会で出された意見をもとに、次期計画の具体的な取り組み目標を議論し、「取組目標(素案)」を策定しました。



第2回地域意見交換会 (6月)

第1回策定委員会による「取組目標(素案)」について、意見交換を行い内容を深めました。



第2回策定委員会 (6月)

第2回意見交換会での意見を踏まえた議論を行い、「取組目標(案)」を策定しました。また、計画書の表紙や裏表紙に掲載するイラストや写真等について、「イメージ(案)」を策定しました。



策定委員会：次期計画を検討・策定するため、地区連合の役員、部会代表、前回策定経験者から選出された委員により構成

連合町内会・地区社会福祉協議会定例会 (7月)

第5期計画の「取組目標(案)」と「表紙等イメージ(案)」を報告。

施設や地域の居場所



日下は、安心して暮らさせるまち

私たちの日下地区は、地域の絆でみんなが安心取り組ん

ひとりひとりがつながり、して暮らせるまちをめざし、でいます。



●コーヒーサロン「和楽」



●「あつまろカフェ」



●みんなの居場所「花まる」



●元気はつらつラジオ体操(笹下ハイツ)



●地域活動支援センターまなび



●日下地域ケアプラザ



●雑色南地域高齢者サロン



主な行事・イベント

- 1月 凧あげ大会
- 5月 笹下川クリーンアップ(春)
- 7月 紙ひこうき大会
- 9月 地域で遊ぼう
- 10月 あそびの広場
- 10月 笹下川クリーンアップ(秋)
- 11月 日下クリーン大作戦
- 11月 日下小学校地域防災拠点訓練

ほかにも、ウォーキングやスポーツなど、地域のみんなが楽しめるイベントがたくさん!

※各イベントの実施時期は予定なので異なる場合があります。

地域の紹介



●雑色町内会



雑色夏祭り

●関町内会



関ふれあい広場

●南平台自治会



ハロウィンパトロール

●笹下グリーンタウン自治会



雀友会

●雑色南自治会



雑色南夏祭り

●プラウドシーズン横濱洋光台自治会



交流イベント

●第一笹下ハイツ自治会



お達者くらぶ

●第二笹下ハイツ自治会



●プラウドシーズン横濱洋光台光彩の邸自治会



防災訓練

町内会



日下地区ってこんなところ

総面積 1.176km²
人口 13,436人
高齢人数(65歳以上) 24.6%
年少人数(15歳未満) 13.6%
0歳児人口 99人

※令和7年9月末横浜市統計ポータルサイトより

- 各所に史跡が残る歴史ある地域です。
- 笹下川の両側に丘陵地帯が広がっています。
- 環状2号線と笹下釜利谷道路が交差しています。
- 人口はおよそ1万3千人で、子どもの数が多いことが特徴的です。



地域の皆さんの声

きれいな川が自慢!

きれいな街が自慢!

あいさつであふれる街!



日下地区の主な取組



凧あげ大会



笹下川クリーンアップ



グラウンドゴルフ大会



紙ひこうき大会



あそびの広場



日下クリーン大作戦

「地域ケアプラザ」って??



地域の安心窓口

赤ちゃんからご年配の方まで、どなたでも気軽に立ち寄れる身近な相談・交流の場です。

人と人がつながる場所

お祭りや世代に合わせた講座・交流イベントを通じて、つながりの場づくりやボランティアの紹介や趣味・サークル活動に使えるお部屋の貸し出しも行っています。

高齢者の相談・支援 (地域包括支援センター)

高齢者が住み慣れた地域で生活を続けることができるように、必要な支援を行います。

横浜市日下地域ケアプラザ ☎045-843-3555

第5期 日野地区地域福祉保健計画 (2026年4月～2031年3月)



あたたかいまなざしとえがおのまち



防災・減災

ふれあい・交流・健康づくり

情報の共有

めざす姿 住んでよかった!と安心するまち

この計画は、港南区全体の計画「港南ひまわりプラン」の一環として、日野のまちで誰もが安心して暮らせるように、「お互いに支えあえる地域にしたい」という思いを込めて、みんなで考えた計画です。

【発行】日野連合町内会・日野地区社会福祉協議会・日野地区民生委員児童委員協議会・日野地域づくり連絡会

令和8年3月発行

① 災害時に備え ご近所力を高めよう

- 日頃から隣近所同士で声を掛け合い、いざという時に助け合える関係づくりを進めます。
- 一人ひとりが防災・減災に関心を持ち、日ごろから備えます。

いざという時のため、話し合っておこう！



防犯パトロール (金井町内会)



防災訓練 (原南自治会)

いろんなことがつながってまちをつくってるんだね！

笑顔いっぱい 「ひの」を 目指そう！



日野の風物詩
北公園の鯉のぼり



② だれもが参加できる、ふれあい・交流の場づくりを広げ、健康づくりを進めよう

- イベントや集いの場を生かして、高齢者・障がいのある人・子ども・若者・外国人など、さまざまな人がつながり支えあえる関係づくりを進めます。
- 誰もが気軽に参加できる運動やウォーキングなどの輪を広げます。



ラジオ体操 (日野住宅地自治会)



納涼祭 (日野町内会)



じゃんけん大会@餅つき (うさぎがやと自治会)

③ 情報が行き届き、つながりのある地域にしよう

- 「いいとこどり」で情報を共有し、地域の連携を進めます。
- 掲示板・回覧・SNSなど、自分に合った方法を活用して、地域の情報に関心を持ちます。
- 日野地域づくり意見交換会で日野地区の情報を共有します。



ひの・まちめぐり・ウォークラリー

インターネット上の
偽情報や
誤情報に注意！



▲港南区
安全・安心情報メール

ひのが こんなまちになったらいいな！

- お互いに見守り、助け合うまち
- 子どもたちが安全安心にすごせるまち
- 誰もがいきいきと活躍できるまち
- 防犯対策で犯罪や事故のないまち

日野地区は こんなまちです

- 自治会・町内会
- 地域防災拠点
- 町内会館
- 主な福祉施設
- 主な医療機関
- 交番



ケアプラザは地域の福祉の窓口です！

地域福祉に関すること、困ったときなどは、いつでもご相談ください。



地域包括支援センター	連絡先
日野南地域ケアプラザ	045-836-1801
港南台地域ケアプラザ	045-834-3141
日下地域ケアプラザ	045-843-3555



詳細はこちらへ

このリーフレットへのお問い合わせは、日野南地域ケアプラザへ



みんなでめざそう 「ふれあい ささえあいのまち」

地域福祉保健計画とは、このまちで暮らす住民が、自分たちの暮らし、地域のことを考え、地域をみんなで良くしていこうと、5年ごとに考えて行動に移している計画です。



活動目標

1 みんながいきいき活動できるまち

～えがおであいさつ～ ～みんな一緒に～

- 地域の様々な人とイベントに参加して、周りとならう
- みんなで地域の楽しいイベントを盛り上げよう
- 住んでいるまちの歴史や名所を知り、いいところを見つけよう
- 元気よくあいさつができる地域にしよう



下根橋からの桜

2 だれにもやさしいまち

～みんな違ってみんないい、お互いを認めあう～
～周囲の誰にも思いやりを～

- 高齢者・障がい者・子育て世代など、地域に住む様々な方へやさしいまちへ
- 日常の小さな困りごとにも耳を傾け、課題解決を一緒に考えます
- 一人ひとりが役割を持ち、助け合える地域を目指します

3 みんなが安心して暮らせるまち

～子どもがのびのび遊べ、安心して暮らせるまち～
～災害(地震・風水害)にみんなで備える～
～気軽に声をかけあえ、助け合えるまち～

- 防災訓練に参加して、地域で災害に備えよう
- 登下校の見守りで、地域であいさつのできる関係作りを
- 「きれいなまちは汚れない」みんなでルールを守りましょう



意見交換会

「住んで良かった」と思えるまちづくりをめざします。

取り組んでいること

みんながいきいき活動できるまち



ひなまつり



日野川こいのぼり子どもまつり



夏祭り・盆踊り



スポーツフェスタ・多世代交流



打ち上げ花火(寺尾町内会)



ふれあいフェスタ



ふれあいフェスタ



吉原南町内会から見た富士山



春 夏 秋 冬

だれにもやさしいまち



麻の会(一人暮らし高齢者食事会)



五楽会(高齢者サロン)



子育てサロン



子ども食堂「りえちゃんち」



唱導寺学習支援



リハビリ教室あじさい



ひまわり体操教室



地域防災拠点運営訓練

みんなが安心して暮らせるまち



登下校見守り



日野川クリーンアップ



社会を明るくする運動ミニ集会



ハマロードサポーター



防犯パトロール



ふれあい花壇(吉原小学校)



地域防災拠点運営訓練



公園を清掃しました!

地域のみなさんの想い

どんな日野第一地区を目指していきたいか

意見交換会の中では、子育て世代の方も地域活動・行事に参加しやすいような工夫をしていきたいとの声が多くありました。また、あいさつから始まる安心・安全なまちづくりや、それぞれのライフスタイルに合わせた情報発信の多様化が必要などの意見もありました。



吉原小学校の6年生の皆さんからいただいた意見

こんな活動してみたい!

清掃活動・ごみ拾いに関する意見が最も多かったです。お祭りやスポーツ大会に参加したい!といった元気いっぱいの意見もありました。
○「ごみ拾い大会」をやりたい!
○だれでもできる「ゆるスポーツ大会」やりたい!

地域のために自分たちができること

まちをきれいにする活動に参加することや地域イベントを主催・お手伝いするとの意見が多かったです。
○日野川のごみ拾いに参加する!
○夏祭りやクリスマスパーティーを手伝う!



公園を清掃しました!

第5期計画ができるまで

令和7年3月から計画策定委員会を立ち上げ、計画を作るために検討を行ってきました。今回は意見交換会とふれあいフェスタで地域の皆様のご意見をいただくことに加えて、吉原小学校6年生の皆さんからも元気で明るい意見をいただきました。ご意見をいただいた皆様、ありがとうございます。



検討会の様子



ふれあいフェスタ

策定委員会での主な意見

- 子どもたちが主役となるような地域にしていきたい。
- だれにでもわかりやすい計画としていきたい。

日野第一地区はどんなところ？

日野第一地区は港南区のほぼ中央に位置し、南北に鎌倉街道があり、立体交差して東西に環状2号線が通っています。

地区の中には、子育てサロンや高齢者サロンを行っている連合町内会館、地域防災拠点であり、ふれあいフェスタ等の行事を行う吉原小学校があります。また、地区センター、スポーツセンター、地域子育て支援拠点「はっち」などもあり、様々な方が集える場となっています。

新しい戸建ても増えていて、高齢化率は22.8%（令和6年9月現在）であり、港南区平均の29.3%を下回り、比較的若い地区と言えます。



- 1 休日急患診療所
- 2 港南区地域子育て支援拠点「はっち」
- 3 港南地区センター
- 4 港南スポーツセンター
- 5 吉原小学校 **地域防災拠点**
- 6 日野第一連合町内会館
- 7 日野公園墓地及び日野中央公園一帯 **広域避難場所**
- 8 港南中学校
- 9 港南区役所・港南区社会福祉協議会・港南中央地域ケアプラザ



私たちは地域で「ささえあいの仕組みづくり」を推進します
地域のみなさまのご協力をお願いします。

- 日野第一連合町内会・日野第一地区社会福祉協議会 ● 大北町内会 ● 寺尾町内会 ● 吉原南町内会
- 吉原東町内会 ● 吉原西町内会 ● 吉原中町内会 ● 日野清風苑町内会 ● 日野ヶ丘町内会
- 港南台公務員住宅自治会 ● シティクレスト横浜上永谷自治会

お問い合わせ 横浜市港南中央地域ケアプラザ ☎045-845-4100

令和8年3月発行

第5期 港南台地区地域福祉保健計画
(2026年4月～2031年3月)



港南台

心かよわせ 響きあう街

ひとりひとりがつながり 見守り 支えあえる計画を皆で考えました



ふれあう

ふれあいデー



参加する

港南台夏祭り



助けあう

福祉ネットワーク



つながる

キャンドルナイト

【発行】港南台支えあいネットワーク

幸せいっぱい港南台

ぼくら 私の住む街こうなんだい!

～誰もを孤立させない 取り残さない～

ふれあう

笑顔あふれる街にしよう

こんな所やこんな事

- ふれあいデー
- 港南福祉ホーム活動展
- 高齢者食事会
- 港南台テント村
- 福祉作業所販売会
- ケアプラフェスタ

- あいさつから広がる”輪”と”和”
- 必要な人に必要な情報を届ける努力
 - 『伝える』から『伝わる』へ
- 障がい理解で共に生きる街
 - 知ることから始める相互理解



高齢者食事会



ケアプラフェスタ



参加する

一人でもみんなでも楽しもう

こんな所やこんな事

- 港南台夏祭り
- ソフトボール大会
- 凧あげ大会
- さわやか駅前清掃
- グラウンドゴルフ大会
- 地域防災拠点訓練

- 住み続けたい、戻ってきたい街
 - 『ふるさと』と誇れる街づくり
- 誰もに参加しやすいイベント
 - みんなのアイデアを取り入れる試み
 - 世代間交流につながる仕掛けづくり
- きれいな街にする取り組み
 - 家の周りから始める清掃活動



さわやか駅前清掃



凧あげ大会

助けあう

互いに見守り支えあおう

こんな所やこんな事

- 防犯パトロール
- こども広場
- 福祉相談
- 移動販売
- 子育てサロン
- 助け合い活動 (福祉ネットワーク)

- 気軽なお手伝い『近助』の実行
 - 話ができる場や機会の提供
 - 災害時にも思いやり助けあい
- 高齢者の見守りと介護者への支援
- 子どもたちがのびのびと育つ環境
 - 子どもたちの育ちを街全体で見守る気持ち



防犯パトロール



子育てサロン

つながる

顔見知りいっぱいにしてよう

こんな所やこんな事

- 七夕まつり
- チャリティバザー/蚤の市
- キャンドルナイト
- まろにエカフェ
- いろいろフェスタ
- 竹林まつり

- 地域資源の有効活用
 - 人や施設との積極的な協力や連携
- つながる『機会』の創出
 - 顔の見える関係性のきっかけ作り
 - つどいの場(居場所)の更なる充実



七夕まつり

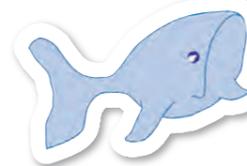


まろにエカフェ

行ってみよう やってみよう きっと笑顔になれるから (^-^)

永野地区の

3つの目標



① だれもが楽しく暮らせる まちにしましょう!

- 多世代が交流できる楽しいイベントや居場所づくりに取り組みます
- 日常的に健康づくりに取り組みます
- 隣近所で日ごろからの助け合い・見守り活動に取り組みます
- 自治会・町内会、各種団体同士の繋がりを大切にします



丸山大ホコテン(丸山台)



ソフトボール大会
(スポーツ推進委員)



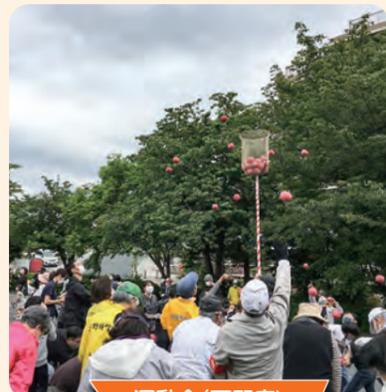
赤い羽根共同募金
(民生委員児童委員)



七福神めぐり(青少年指導員)



バーベキュー祭り
(いずみプラザ)



運動会(下野庭)



芋掘り(上野庭)



歌声まつり(勸永)



文化祭演芸大会(上永谷)

② 子どもたちが伸び伸び育ち 愛着もてるまちを作りましょう!

- 子どもが活躍でき、まちに愛着をもてるイベントを開催します
- 地域で子どもが安心して暮らせるよう見守ります
- 家族が地域と楽しく交流できる場を増やします
- 地域と学校が連携していきます



餅つき(富士見台)



赤ちゃん教室
(保健活動推進員)



夏祭り(美晴台)



相武山小フェスティバル
(月見ヶ丘)

③ 安全できれいなまちの暮らしを 楽しみましょう!

- 清潔で住みやすい環境づくりに取り組みます
- 地域住民、関係団体が協力して防犯・防火に取り組みます
- 防災訓練など、災害に備えた取り組みを進めます



STOP! 詐欺被害!!(消費生活推進員)



清掃活動
(環境事業推進委員)



防災訓練(南高台)



防犯パトロール(菱興)

各自治会町内会、各種団体の活動写真です

さまざまな活動が行われています!



祝 演芸大会

シルバークラブカラオケ大会

車いす体験

みはる子どもひろば

小学生との防災訓練

ふれあいくじら祭り

障がい理解の上映会

おしゃべり会

グラウンドゴルフ

ラジオ体操

ながのの声

- あいさつをするとうれしいよね
- 気軽にあかちゃん連れて行ける所ないかなあ
- 先輩ベテラン世代の話聞きたい
- シルバークラブが活躍してるよ
- 信号を渡るときいつも見守ってくれる人がいるんだ
- シルバークラブで友人を増やしませんか
- 現役世代が町内会活動に参加できる工夫が必要だよ!
- 気軽に参加できる会がいっぱいあるといいな!
- 現役世代だって防災には関心あるよ
- 困ったら相談してみよう
- 地域の歴史を知ろう
- あちこちで防犯パトロールをやってるよ
- ひろーい広場がほしい!
- 子どもたちのためのイベントがあるといいな!
- パパたちだって活躍してるよ~
- 夜なら行けるかな? お酒の会はないかな?
- ゴミ収集関係でいろいろ問題が出てるけど、一生懸命取り組んでるよ
- 日ごろから隣近所でコミュニケーションをとって助け合おう!
- 委嘱委員同士のコラボ企画やりたいですね
- 委嘱委員やってるけど、自治会のイベントにも企画から参加したい

ながのくじらプランは永野連合町内会・永野地区社会福祉協議会・各種団体等の皆さんと作成しました
【問合せ先】上永谷駅前地域ケアプラザ ☎045-840-1260

令和8年3月発行

第5期 野庭団地地区地域福祉保健計画(令和8年4月~令和13年3月)



いきいき健やか ふるさと♡のば

野庭団地の目標

「誰もが安心して住み続けられる野庭団地」を目指して

野庭団地ってどんなところ?



野庭団地は分譲マンションの団地で、約2800世帯が生活しています。居住年数が長い方が多く、フローア、隣り近所の助け合い活動が盛んです。野庭中央公園を中心に安全で緑豊かな緑道でつながれ、自然環境のとても豊かな地域です。

入居開始から約半世紀が経過し、高齢化をはじめとした様々な課題が出てきていることから、野庭団地の連合自治会と地区社会福祉協議会を中心に見守り・支え合い・助け合い、健康づくりの事業に積極的に取り組むと共に、管理組合とも連携して防災関係等に積極的に取り組んでいます。

第5期港南ひまわりプラン 「目標達成に向けたテーマ: 4つのアクション」



多くの人と人が出会い・知り合い・対話をする機会を通じて、新たな気付きや取り組みが生まれます。目標を達成する為に港南ひまわりプランの4つのアクションを意識して取り組んでいきます。特に、野庭団地地区では「知る」を重点アクションとしていきます。

野庭団地地区の基礎データ(令和7年3月現在)
人口……5,774人 0~14歳… 250人
15~64歳…2,463人
65歳以上…3,061人

高齢化率……53.01%
高齢者の単独世帯…790世帯
※地区概況シート(健康福祉局作成)より

令和8年度 からの計画

誰もが安心して住み続けられる野庭団地を目指し「地域ささえあい会議(※)」等を通して話し合いを進めていきます。
この計画の策定にあたって、5つのテーマを考えました。このまちを住みやすくするために、野庭団地に住むみなさん一人ひとりができることを考え、行動していきましょう。

(※) 「地域ささえあい 会議」とは？

野庭団地の連合自治会・地区社会福祉協議会が中心となり、自治会・各種委員会・グループ・個人が連携を図りながら、住民同士が支えあい、安心して暮らせる地域づくりを進めています。意見交換・情報共有を行う場として年3回程度の会議を行っています。



テーマ1 お互いさまと思いやりで「人」がつながるまち

地域の人を知りましょう！

- フロアー、隣り近所で見守り、助け合いの活動をおこないましょう
※いざという時、助け合えるためにも
- 「助け上手」「助けられ上手」で声をかけ合っていきましょう
- 一人ひとりができることから始めてみませんか



テーマ2 誰もが健やかで元気に過ごせるまち

地域の様々な活動の場を知りましょう！

- 外に出掛けて、顔見知り、仲間をつくりましょう
- いろいろな世代の声を反映し、交流の機会を増やしていきましょう
- 一人でも仲間同士でもできる、楽しい健康づくりの場があります
- ラジオ体操、自治会の行事、歩こう会などの場があります



野ばらの会
沖縄音楽と三線演奏

テーマ3 安全への備えと行動で、安心して暮らせるまち

いざという時のことを知りましょう！

- 食糧、水は最低限3日間(できれば1週間)確保していますか
- 「在宅避難」できるよう、家の中を見直していますか(家具転倒防止・トイレパックなど)
- 地域の防災訓練に参加し、災害時の行動を確認しましょう
- 特殊詐欺や悪質商法について知り、騙されないように意識していますか



ローリングストック

テーマ4 豊かな緑を守り、きれいで快適なまち

地域のルール・約束ごとを知りましょう！

- ゴミの分別や出し方のマナーを守り、清潔なまちを保ちましょう
- 自治会や管理組合の清掃や草刈りに、みんなで参加しましょう
- ポイ捨てのない、きれいな緑道を守っていきましょう
- 自然環境を大切に、次世代につなげていきませんか



小学生によるヤゴ放流



幼稚園児によるオアシス花壇花植え

テーマ5 地域の活動に無理せず楽しく参加できる・したいことができるまち

地域の活躍出来る場に参加しましょう！

- 自分が暮らしている地域の情報をキャッチして、イベントなどに参加してみませんか
- 世代や分野、団体を越えた仲間とのつながりを広げていきましょう
- 経験やできることを生かして、地域で活躍できる機会を作っていきましょう
- 地域のことに興味を持ち学ぶ機会を持ていきましょう



福祉の集い



のばマルシェ

ホームページで 野庭団地を知ろう！

二次元コードまたは

野庭団地 検索



野庭団地地区の情報が満載！



ニュース



おすすめメニュー



バス時刻表



野庭マップ

野庭団地地区の 見守り・支え合い・助け合い活動



地区社協
⑤だんの④らしを③あわせに一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくりを目指します。

連合自治会
共通する課題に取り組み、住みよい街づくりの為、人と心のつながりで活動を活発にします。

共助
支援を必要とする人
(高齢者・乳幼児・障がいのある方など)
ご近所と仲良くし、手助けが必要な時は声をあげ、一歩踏み出す勇気を！

近助
ご近所さん 一番大事
●民生委員・児童委員、主任児童委員
●シルバークラブ
●友愛活動員・手助けしてあげ隊
●オールのば友愛活動員会
●住民ボランティア
●管理組合

活動や運営の担い手
●民生委員・児童委員
●主任児童委員
●友愛活動員
●ボランティア (グループ・個人)

野ばらの会
元気で介護予防教室

公園遊び
未就園児の遊び場

ささえ愛のば
見守り・支え合い活動

出前カフェ 一人暮らし高齢者対象のお茶会

あい・愛・ネットのば
自治会単位の見守り・助け合いの活動を助成・支援します

自治会エリアでの助け合い活動の担い手
●保健活動推進員 ●家庭防災員
●消費生活推進員 ●青少年指導員
●環境事業推進委員 ●スポーツ推進委員
●防犯指導員 ●保護司

サポートしてくれる関係機関
●野庭地域ケアプラザ ●区役所
●区社会福祉協議会 ●野庭地区センター
●消防署 ●警察署 (交番)
●医療機関 ●学校 ●学援隊

自治会単位の小さなエリア対応
●緊急の依頼に対応が可能
●日頃の様子を知っている身近な人による対応が安心感につながる
●お手伝い終了後も日頃の見守りにつながる

地域の見守り・支え合い・助け合い活動に、ぜひあなたの力をお貸しください

保存版

第5期 野庭住宅地区地域福祉保健計画 (令和8年4月～令和13年3月)



野庭 にじいろさんご プラン

～明るく住みよいあいさつのある野庭住宅を目指して～

「にじいろさんご」とは…

各自治会の2・4・1・6・3・5の語呂合わせで、未来への懸け橋である虹のように光り輝いてほしいという願いが込められています。

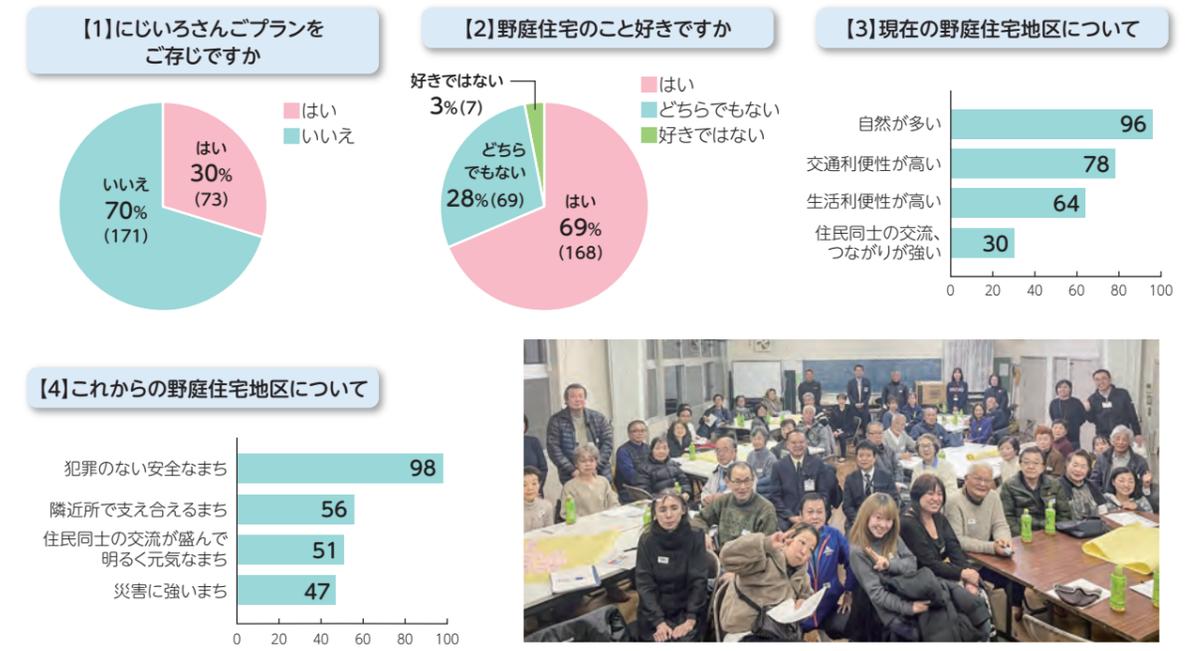
野庭住宅地区はこんな地域です

野庭住宅は、昭和47年から昭和50年にかけて建設された市営住宅です。総戸数は約3,300戸で、市営住宅という性格上、転入が多いという特徴があります。私たち野庭住宅地区では、近隣の気配りと、6つの自治会などのきめ細やかな活動で、支えあいの地域づくりを目指しています。建設より約50年が経過し、様々な課題が出てきていることから、地域の関係者で「未来につなぐ会」が発足され、野庭地区全体の再生に向けて取り組んでいます。



アンケート結果

令和7年4月～7月の各種自治会等催し時にアンケート実施
対象者：催し参加者延べ約260名



みんななかよく 明るい

のぼ

一人ひとりが無理なく出来ることをやろう!



目標1 住民の交流・ふれあいを大切にしよう

みんなで地域の行事に参加しましょう。
準備や運営に楽しみながら参加し、交流をしながら顔見知りを増やしましょう。

目標2 一人ひとりがつながり 支えあおう

ひとりの人、ひとつの団体だけでできることは限られています。
みんながつながることで、取組をより活発にし、見守り・支えあいの力を強めていきましょう。

ふるさとと呼べるまち

地域活動を未来に引き継ごう

- 季節ごとの行事開催
(七夕・祭り・ハロウィン・クリスマス会・餅つき・芋煮会・花火大会)
- テーマごとのコミュニティによる活動
(カラオケ・体操・ピンポン・園芸・ポッチャ等)
- 防災訓練・おはよう清掃・公園愛護会
- グランドゴルフ大会・カラオケ大会
- 寿会・高齢者サロン・各種ボランティア活動



防災・減災

自助と共助で

災害に備えよう

自助

- 家族との連絡手段の確保
- 家庭備蓄
(ローリングストック)や家具転倒防止対策
- 黄色いマグネットの活用

共助

- いっつき避難場所の確認・呼びかけ
- いざという時の声かけ
- 隣近所の安否確認
- 防災訓練への参加
- 家庭防災員さんと協力し状況把握
- 要援護者の把握



防犯・見守り・支えあい

いざという時、頼れる人を!

- 階段ごとの普段からの見守り活動
- 日頃のちょっとしたお手伝い
- 食事会、高齢者サロン
- 訪問による安否確認
- ひまわりホルダーの活用
- 普段からの子どもの見守り(学援隊など)
- 防犯パトロール
- 地域のお店なども一緒に見守り
- 移動販売時の見守り
- お渡し会の開催
- 班集会や階段での見守り・支えあい
- 障がいのある人や家族との交流機会の創出



～こうした素敵な取組を未来へつないでいくために、そして

これからも“みんななかよく 明るいのぼ”であり続けるために～

担い手の確保

みんなで無理なく楽しく活動しよう

- あいさつ・声かけで顔なじみを増やす
- 今ある活動に参加して知り合いづくり
- 働きながらも子育てしながらでも気軽に参加できる活動づくり
- 小中学校と連携し、子どものころからの地域活動への参加の働きかけ
- 若者グループと連携した行事開催
- 誰もが参加しやすい工夫



国際理解の促進

出身地の違いを越えて、住民同士が対話によって理解しあい、つながりあう地区へ

- 国際理解を育む



のばMAP

令和8年3月現在の情報

…集会所



福祉施設・交流拠点

- ① 野庭地域ケアプラザ・野庭地区センター
- ② なごみのば
- ③ よこはま港南地域療育センター
- ④ のばこども家庭支援センター
- ⑤ 野庭風の丘
- ⑥ すずかけの郷
- ⑦ 市営野庭住宅LSA(生活援助員)相談室

お店など

- ⑱ ショッピングセンター
(横浜市住宅供給公社
野庭事務所もこちら)
- ⑳ パレット野庭店
- ㉑ 横浜野庭郵便局
- ㉒ たまや野庭店、サンドラック野庭店
- ㉓ ファミリーマート横浜野庭店
- ㉔ FUJI 野庭店
- ㉕ セブンイレブン日野九丁目店
- ㉖ 野庭サブセンター
- ㉗ クリエイト港南野庭店
- ㉘ セブンイレブン野庭団地前店

幼稚園・保育園

- ⑧ 野庭幼稚園
- ⑨ 野庭聖佳幼稚園
- ⑩ 関東学院のびのびのば園
- ⑪ 野庭保育園
- ⑫ 野庭第二保育園
- ⑬ SUNはるかぜ保育園
- ⑭ 港南はるかぜ保育園

学校(地域防災拠点)

- ⑮ 野庭すずかけ小学校
- ⑯ 下野庭小学校
- ⑰ 旧野庭中学校
- ⑱ 丸山台中学校

— 188系統(わんぱく公園前経由)
上永谷駅前ゆき



第5期 下永谷地区地域福祉保健計画 (令和8年4月～13年3月)



育てよう 私たちの故郷 下永谷

ホタルが舞う ふれあいのまち

下永谷地区は港南区の北部にあり、平戸永谷川沿いには四季の草花が咲き、カワセミが羽を休める自然豊かなまちです。
近年、地域の清掃や環境保全の取り組みにより、ホタルが戻ってくるようになりました。
この地区ではふれあいと絆を大切にしながら、赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが安心して健康にいきいきと暮らせるまちを目指し、地域住民が楽しみながら様々な活動を行っています。



カワセミ(翡翠)



ヒマワリ



ヤマユリ



神明社

タイトル:下永谷の四季 協力:下田 清子さん(港南富士見台自治会)

【発行】令和8年3月 にじいろさんごの会 【協力】野庭地域ケアプラザ・港南区社会福祉協議会・港南区役所
【連絡先】045-848-0111(野庭地域ケアプラザ)

下永谷のみなさんが主役です

第5期計画は第4期計画を
継承しています



意見交換会



社会を明るくする運動



あわせ

いつまでも
みんなで

に暮らせるまち

健康で幸せに暮らすために
見守り支えあいましょう



地区社会福祉協議会(研修)



ひまわりホルダー



ラジオ体操



たすけあい連絡会(除草伐採)



っと
助け合

ちょっとした
地域で対応

地域の人たちで
おう

困りごとにも
できるまちにしましょう



敬老慰安会



お楽しみ食事会



公園あそび



健康体操



かよし
増や

いろんな

仲間を
してつながろう

イベントに参加しましょう



チャリティ芸能大会



わいわいサロン



平戸永谷川さくらまつり



グラウンド・ゴルフ



やがや

多世代交流

集まろう

を深めましょう



ボッチャ



下永谷の昔を歩く会



平戸永谷川クリーンアップ



子どものための防犯教室



さしい
まち

防災・防犯

心で安全安心な
をつくろう

に強いまちにしましょう

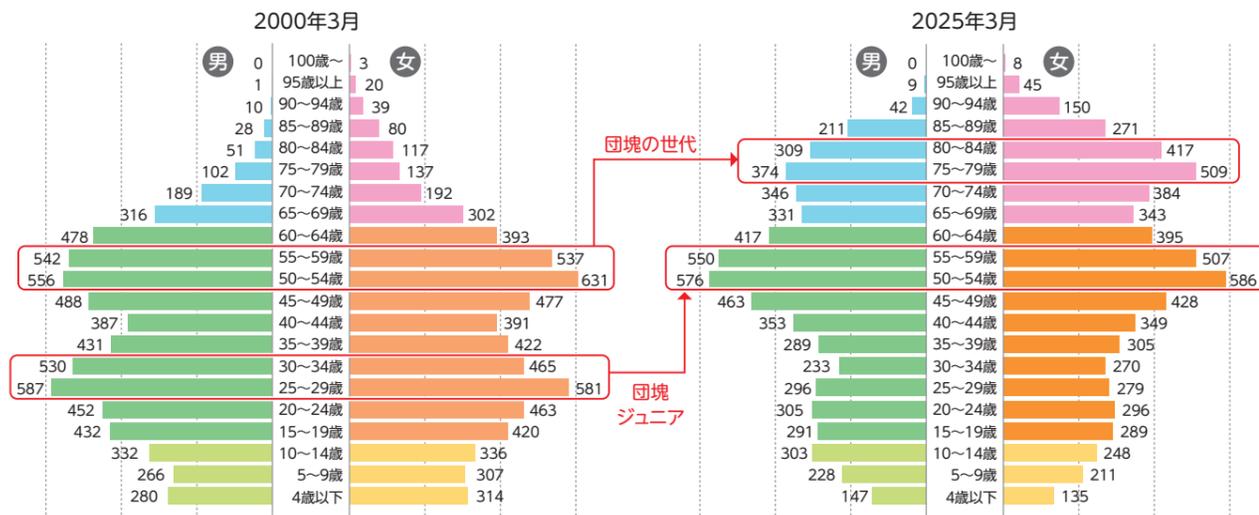


永谷小地域防災拠点訓練



防犯パトロール

下永谷地区の人口構成(1丁目～6丁目)



年月	地区	総人口	65歳以上人口	高齢化率	後期高齢者人口の割合
2000年3月	下永谷	13,085人	1,587人	12.1%	4.5%
2025年3月	下永谷	12,498人	3,749人	30.0%	18.8%
	港南区	211,186人	61,968人	29.3%	18.0%
	横浜市	3,752,131人	942,780人	25.1%	14.8%

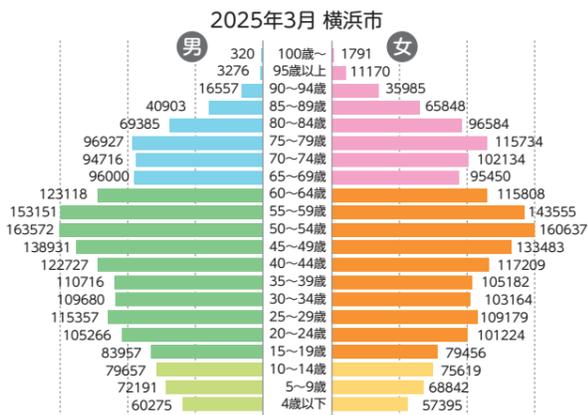
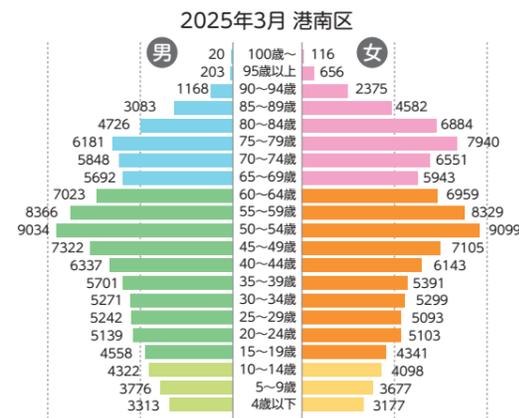
人口ピラミッドは、地域の『いま』を映す鏡です。この25年で特に目立つのは75歳以上の後期高齢者の割合が18.8%となり、下永谷地区の約5人に1人が75歳以上であることを示しています。

急速な人口構造の変化は、様々な分野に大きな影響を与えられています。一方でこれは、私たちが『長く生きられるようになった証』でもあります。

シニア世代はその豊富な人生経験を活かし、家庭内や地域社会での支えとなります。子育て、地域活動、ボランティア活動など、社会全体のつながりを強める役割が期待されることも、長寿が評価される背景の一つです。

これから『育てよう 私たちの故郷下永谷』を推進していくために私たち一人ひとりの意識や行動が重要となります。この下永谷地区地域福祉保健計画ではいろいろな地域での取り組み(中面)を紹介しています。

皆さんも『できること』から始めてみませんか？



ひまわりホルダー普及活動



下永谷地区社会福祉協議会では『ひまわりホルダー』の普及活動を行っています。港南区に住む65歳以上の方を対象とした『ひまわりホルダー』は、緊急時の身元確認用に活用されています。万が一のお守りとして、日頃から身に付けておくと安心です。



【発行】下永谷連合町内会/下永谷地区社会福祉協議会 【協力】港南区役所/港南区社会福祉協議会/横浜市下永谷地域ケアプラザ
【問合せ】横浜市下永谷地域ケアプラザ 045-826-2640

令和8年3月発行

第5期 永谷地区地域福祉保健計画 (令和8年4月～13年3月)



なが～く住みたい永谷



チラシも中学生が作りました

このまちで きみの未来を育てる



企画&準備



ボランティア打合せ



支えあいネットワーク

お祭りで
中学生ブースを
やりたい



縦・横・斜めのつながりを大切にしています

縦のつながり

子どもたちが安心して過ごせるまちにするために世代を超えてつながりを作りましょう。

横のつながり

互いに支えあえるまちを目指して、隣近所とのつながりを大切にしましょう。

斜めのつながり

新しい取り組みを進めるために、これまで付き合いの少なかった方と積極的に話しましょう。

芹が谷一郵便局にて
その他11か所



まちの給水所

一人暮らし高齢者の食事会



あいさつ運動

せりがや健康塾



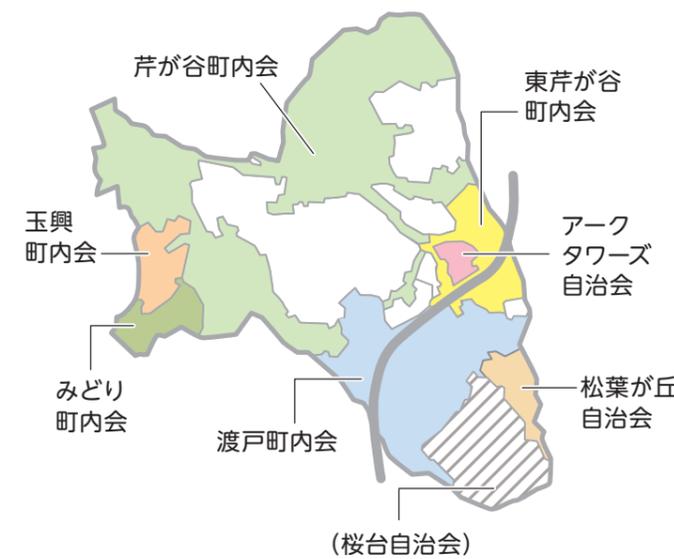
お芋掘り



「支えあいネットワーク」から生まれる

永谷の輪

永谷地区の構成図 町会数：7自治会町内会



一人暮らし高齢者
防災グッズ

防災6拠点連絡会



防災訓練



シャフルボード大会



親子で遊ぼうポッポに乗って



焼き芋&豚汁会



七タコンサート



まちぐるみ健康教室

＼ これからの5年間で、更に活動を広げていきます！ ＼

50歳の永谷地区 ～5年間の取り組み～

防災・減災

一人ひとりが防災意識を持って行動できるようにしましょう！

- 学校や福祉施設と一緒に防災の取り組みを進めます。
- 様々な立場の人の理解を進め、災害時の対応方法を共有します。
(要援護者支援、要援護者マップ)
- 一緒に防災意識をもって一緒に行動します。



見守り・支えあい

孤立を防ぐために一人ひとりが地域に関心を持ちましょう！

- 地域全体で連携し、見守り活動を更に広げます。(見守り協力事業者、まちの給水所、こども119番)
- 身近な場所でできる心と身体の健康づくりを更に進めます。
(せりがや健康塾や体操教室)
- ご近所同士が知り合うきっかけや、お互いに支えあう関係を作ります。
(あいさつ運動、永谷たすけあい広場、住民支えあいマップ)
- 必要な情報を必要な人に届けられるように工夫します。(SNS、広報誌、回覧、掲示板)



担い手 (地域活動参加者)

一人ひとりができることから始めましょう！

- 学校と連携して児童・生徒が地域で活躍できる場を作ります。
- 子育て世代が地域とつながり、活躍できるように後押しします。
- 多世代が継続的に活躍できる場を作ります。
(夏祭りや地域食堂)
- 男性も継続的に地域活動しやすくなるきっかけを作ります。



【発行】永谷連合町内会・永谷地区社会福祉協議会・永谷地区地域支えあいネットワーク
 【協力】芹が谷地域ケアプラザ・東永谷地域ケアプラザ・下永谷地域ケアプラザ・港南区社会福祉協議会・港南区役所
 【問い合わせ先】芹が谷地域ケアプラザ TEL:045-828-5181

令和8年3月発行



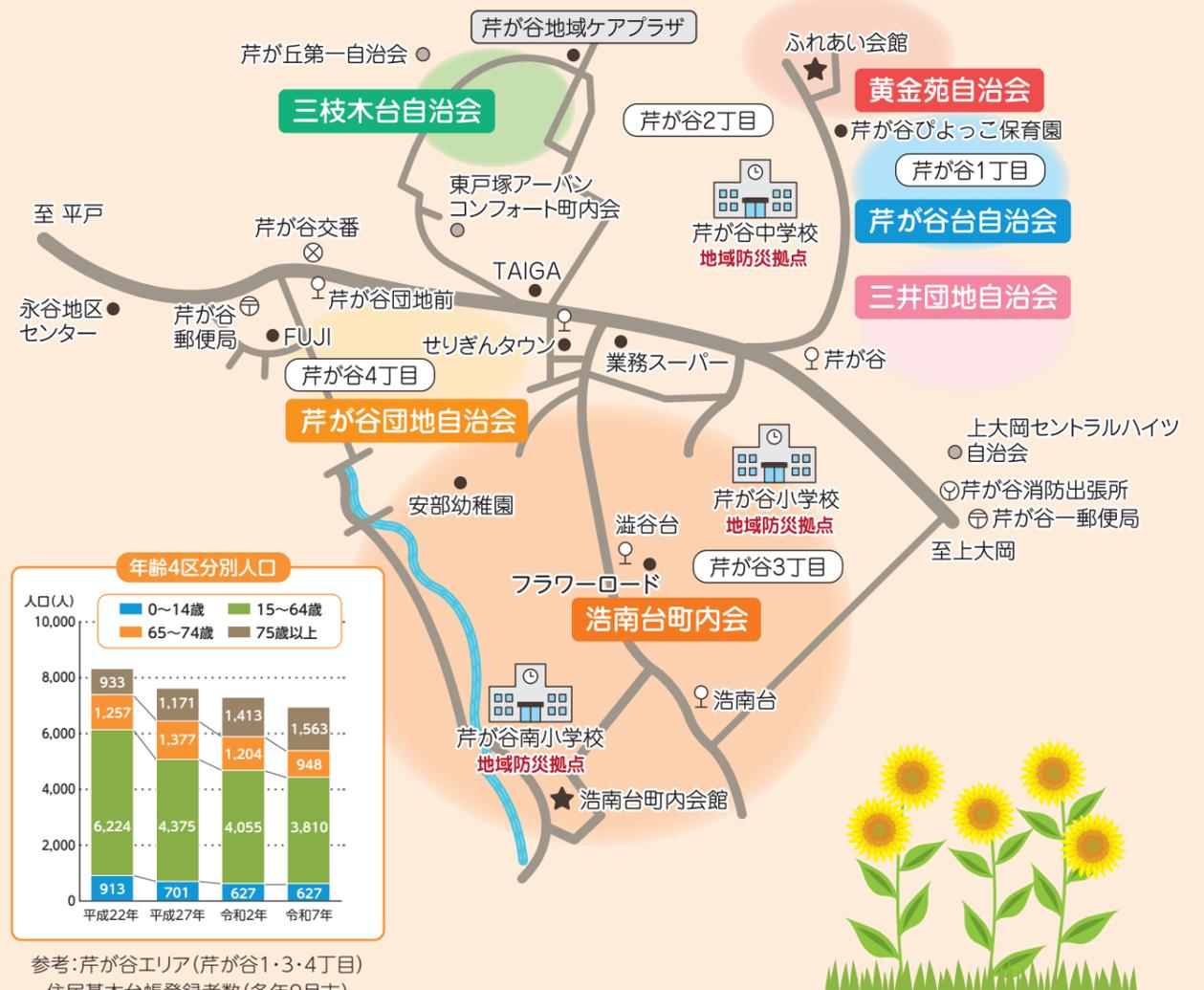
はなみち

さかみち

えがおのみち

芹が谷ひまわりプラン

芹が谷のまちは、美しい花が咲き、美しい景色が広がり、魅力いっぱいのまちです。
 若い人たちが未来を描けるよう、ふだんのつながり・支えあいを大切に、
 みんなが安心安全、住み続けられるまちを目指します。



参考：芹が谷エリア(芹が谷1・3・4丁目)
 住民基本台帳登録者数(各年9月末)

芹が谷地区は、昭和30年ごろから宅地造成が始まり、自治会をつくり、協力しながら地域を育て発展してきました。
 昭和59年に近隣の自治会・町内会が集まり芹が谷連合自治会を結成しました。現在6つの自治会・町内会で活動して
 います。連合自治会に次いで、芹が谷地区社会福祉協議会が結成され、皆で協力しながら福祉活動をしています。

テーマ
1

安心安全・防災

83太郎も
見守っています

あいさつ
運動

通学路の
見守り

ひまわり
ホルダー

ひまわりホルダー機能カード
ひまわりホルダー
芹0000
045-828-5181

いざという
時のお守り

防災センター
見学

防犯
パトロール

テーマ
2

魅力・絆・見守り

ひとり暮らし
高齢者の
食事会

芹が谷地域ケアプラザにて

学援隊

地域のことを
みんなで話し合

芹が谷地域ケアプラザにて

支えあい
ネット
ワーク

ご近所の
困りごとの
お手伝い

福祉
ネットワーク
活動

みんなで緑と花の
まちづくり

せりやま
フェス

テーマ
3

健康・レクリエーション

子育てサロン
チューリップ

クリスマス会

永谷地区センターにて

天ぷら油
回収

せりぎんタウンほかにて

地球環境に
やさしいまちに

世代を超えて
まちをきれいに

夏祭り &
花火大会

芹が谷1丁目公園にて

クリーン
スポーツ
大会

青少年
指導員
田植え

舞岡公園にて

鎌倉
ハイキング

ポッチャ
大会

芹が谷南小学校にて

体操教室

ラジオ
体操

芹が谷1丁目公園にて

芹が谷地区は、3つの目標を達成する

ため、各テーマに沿って活動します。

はなみち

若い人たちが未来を描けるよう
人と環境にやさしいまちにします

さかみち

まさかの時の助けあい
ふだんのつながり・支えあいの
後押しをみんなでします

えがおのみち

みんなが安心安全
笑顔で住み続けられる
まちにします

みなさんの思いが形になるように、協力して活動します。

芹が谷地区5年間の取り組み

テーマ1 安心安全・防災

- ★ 防犯パトロールを強化・拡充し、各関係機関と連携して、安心できるまちづくりを進めます。
- ★ 災害時(震災時:震度5強以上)の避難の流れを地域の皆さんに周知します。



- ★ 災害時要援護者の避難する仕組みを構築します。誰もが安心安全に避難できるようにします。
- ★ 学援隊活動を通じて子どもたちの安全を確保します。
- ★ 万が一のお守り「ひまわりホルダー」を広めます。
- ★ こうなん災害時協働隊の取り組みを知り、連携を進めます。
- ★ 自分だけではなく近隣と声をかけあえる関係を築いていきます。



テーマ2 魅力・絆・見守り

- ★ 天ぷら油回収を広め、地球環境にやさしいまちにします。
- ★ 地区センターやケアプラザとのお祭りやイベントの後押しをします。
- ★ 広報紙を作成し、見守り・支えあいの輪を広げます。
- ★ 福祉ネットワークで連携を図り、より充実した活動を目指します。
- ★ インターネットを活用した取り組みを進めていきます。
- ★ 小・中学校と地域の連携をより深めます。
- ★ お店や福祉事業所と連携して、地域行事を盛り上げます。
- ★ 子育て支援を充実させ、子育てしやすい地域をつくります。(チューリップなど)



テーマ3 健康・レクリエーション

- ★ ウォーキングやラジオ体操など交流と健康づくりを進めます。
- ★ 世代を超えた様々な人が参加できるスポーツ(ポッチャ・グランドゴルフ・モルックなど)の実施により、地域の活性化と地域住民間の連携強化を図ります。
- ★ 自治会・町内会館を利用した体操教室をさらに充実させます。
- ★ 子どもたちが参加できる、楽しいイベントを企画します。
- ★ まちの美化に取り組むクリーンスポーツを通して小・中学生の活躍の場を設け、交流の場を広げます。



みなさんが『芹が谷地区に住んでよかったな』と思えるまちづくりを応援し、形にするため、様々な取り組みを行います。この地域がますます元気になるように一緒に活動しましょう。

【発行】芹が谷連合自治会・芹が谷地区社会福祉協議会 【協力】芹が谷地域ケアプラザ・港南区社会福祉協議会・港南区役所
【問合せ】芹が谷地域ケアプラザ TEL 045-828-5181 令和8年3月発行

第5期ひざり地区 地域福祉保健計画 (令和8年度~12年度)



ゆが街ひざり・いきいき幸せプラン

すきがとまらない ひざりの暮らし

ホッとできる場所
帰りたくなる場所
安らげる場所

日限山

第5期 港南ひまわりプラン (港南区地域福祉保健計画)

基本理念 ふだんの暮らしをしあわせに

港南ひまわりプランは誰もがしあわせに暮らせる地域をみんなでつくりだすことを目指しています。

目標 笑顔でらせるまちをつくろう

誰かと出会い、知り合う中で共感し、自分ができることに取り組み、みんながお互いに思いやり、支えあうことができるまちとして、誰もが笑顔で暮らすことのできるまちを思い描きました。

目標達成に向けたテーマ 4つのアクション

「知る」「つながる」「できることをやる」「支えあう」
多くの人と人が出会い、知り合い、対話をする多くの機会を通して、新たな気付きや取組が生まれています。第4期計画で取組を進めた4つのアクションを継承しつつ、こうした機会を通じ、様々な人・団体の思いや活動を重ね合わせることで、目標の達成を目指します。

ひざりって!!

自然豊か静かで
落ち着いた住環境

教育・
子育て環境が
整っている地域



コミュニティが
しっかりしている

ひざり地区 今期の課題

- 地域防犯・防災の取り組み強化
- 高齢化に伴う担い手育成
- 次世代の地域活動への参加
- 子育て世代へのサポート
- 情報共有とICT活用の推進



テーマ みんなが安心して暮らす

ひざり、みんなで作ろう！

5年間の地域活動目標 ▶ まちやひとの

変化にあったしくみとひとづくり



「知る」

しくみ

みんなが容易に知る

ことができる情報発信

- 知識(ひざりの歴史)
- 防犯・防災

- こども・大人・高齢者向け

- 情報
- まちのコト: SNS活用(Instagram)・ひざり掲示板・QRコード

- 自治会・学校・福祉施設・団体・地域の防犯・防災



「支えあう」しくみ

みんなでお互いを支えあえる環境を整える

子ども・青少年

- サロンやサークル、出前授業による学びの場
- 子どもの見守り(学援隊)

高齢者・障がい児・者

- 災害時の助け合い
- 福祉ネットワークの活用



「つながる」しくみ

みんながつながるきっかけをつくる

地元のお店を応援しよう

地元の習い事に注目しよう

ペット外交

地域の活躍者の応援団

人

- 地域のつながり
- 挨拶できるご近所さん

学校

- 保護者同士のつながり

まちの環境を整える

体力づくり

地域の行事やイベントに参加

まちの安心・安全(防犯・防災)

- パトロールウォーキング
- ローリングストック
- 防災訓練の参加

参加できる・したいと思える

活動やイベントを増やす

「できることを

やる」しくみ



ひざり連合自治会、単自治会、活動団体、住民、

学校や行政と連携して推進していきます

あなたが
まちの主人公!

みんなで一緒に とりくみましょう!

向こう三軒両隣、
顔の見える関係に!



①安全・安心のまちづくり

■助け合い・見守り・支えあい

- 見守りネット
- 支えあいサポート
- ちょこっと助け合い



地域合同防災訓練
災害対策の基本は「一人ひとりの備えと地域の絆」
多くの方が協力、参加しています

■防災・減災に強いまち

- 地域合同防災訓練
- 「在宅避難者支援の仕組みづくり」
- 「災害時助け合いグループ活動」
- 災害時要援護者支援

■防犯・交通安全

- 交通安全啓発
- 83(ハチサン)運動
- カチカチパトロール
- 特殊詐欺対策



合同パトロール
まちの安全、防犯の見守りが
地域の安心につながっています



まちの様子
道幅が広く落ち着いた
環境の住宅地

④地域活動を支える人たちのつながり

■地域への情報提供

- 日野南地域支えあいネットワーク連絡会
- ボランティア交流会
- 地域ささえあい連絡会
- 協働によるまちづくり意見交換会
- 「日野南支えあいネットワークだより」
- 「自治会広報紙」「防災だより」の発行
- ホームページ「ひのみなみ」の運用



ボランティア交流会
日頃の感謝をこめて、年1回開催。
ボランティアさん同士の活動を知り、
交流を深める場となっています

■世代間の交流

- PTA、おやじの会など
地域の父親、母親世代との連携
- 日野南カレー屋さん



ホームページには地域の
色々な情報が載っています



③子どもたちとの交流・支援

■青少年の育成

- 新1年生をお祝いする会
- 地域の子どもの絆を深める会
- 坂のまちのハロウィン
- シルバークラブと日野南小の交流
- ミニ集会「社会を明るくする運動」



健やかな成長を願って...
地域みんなで新1年生をお祝いします

■子育て世代の支援

- 親子のひろば「ひよっこ」
- 公園あそびの会
- 「赤ちゃん教室」

■障がい児者とのつながり

- 当事者、家族とのつながり・交流
- 地域の事業所との交流



スタンプラリーをしながら地域のお店を
回る毎年人気のイベントです

②憩いの場・集いの場づくり

■みんなが参加できる行事

- 富士見夏祭り
- スポーツフェスタ & キャンドルナイト
- お楽しみ工房
- 坂のまちのフェスティバル
- 地域合同お楽しみ会

■交流のひろばづくり

- みんなの居場所「コミュニティカフェ icocca」
- おしゃべりくらぶ
- ふれあいサロン
- わかばの会
- 日野南アート展

■憩いの場づくり

- 糸ぐるま、楽々健康体操、ウォーキングの会など趣味の活動
- シルバー喫茶「コスモス」「ぼちぼちカフェ」
- おしゃべりパーク



坂のまちのフェスティバル
日野南公園を会場に、フリーマーケット、
ワークショップやステージなど住民による
手づくりのおまつりです

⑤新たな課題への取り組み

■安全性・住環境の維持

- ゴミや食品ロス削減の啓発
- 街並み景観の維持、公園美化

■社会問題への対応

- 空き家問題対策
- 認知症支援

■新しいまちづくり活動

- デジタル技術進化への対応
- コミュニティカフェicoccaの支援
- 新たな発想によるまちづくりグループ立ち上げの期待、支援
- 有償ボランティアの検討



スマホ教室
社会のデジタル化に対応するために
身近な場所で学ぶ機会をつくっています



子どもたちが先導する
お神輿・山車が盛り上げます

4 第5期 港南ひまわりプラン (区計画)ができるまで

地域の人で構成される「港南区地域福祉保健推進協議会」において計画の振り返りを行いつつ、計画の推進に関する意見交換を行いました。あわせて、「しゃべっCiao♪※」も開催し、区民の皆さんと港南ひまわりプランや地域課題に関する意見交換を行いました。

※しゃべっCiao♪…港南区の活動や課題等の共有を目的とした、区民の皆さんによる意見交換の場

1 港南区地域福祉保健推進協議会

港南区の保健・医療・福祉等の連携強化を図り、地域における総合的な福祉保健サービスを円滑に行うことを目的に設置しています。港南ひまわりプランについても、地域の皆さんと協議を行っています。

港南区地域福祉保健推進協議会委員 ※敬称略/第5期計画策定時(令和6・7年度)の委員

氏名	所属
栗原 敏也(会長)	港南区役所
古屋 文雄(副会長)	港南区連合町内会長連絡協議会
豊福 孝夫(副会長)	港南区医師会
黒川 暁博【令和7年11月まで】	港南区民生委員児童委員協議会
柿沼 恵子【令和7年12月から】	
猿渡 力	済生会横浜市南部病院
川辺 裕子【令和6年度まで】	港南区ボランティア連絡会
樋上 祐造【令和7年度から】	
星 博雅	港南区歯科医師会
三浦 友美子	港南区子育て連絡会
武馬 雅憲	港南区シルバークラブ連合会
荻久保 頼則	港南区社会福祉協議会
三澤 喜彦	港南区薬剤師会
早坂 由美子	港南区障害者団体連絡会
石川 正二	港南区保健活動推進員会
若林 諭【令和6年度まで】	港南区地区社会福祉協議会分科会
利根川 和代【令和7年度から】	
小松 正子	港南区食生活等改善推進員会
山田 実【令和6年度まで】	港南区地域ケアプラザ所長会
鈴木 方智【令和7年度から】	
高田 桂太郎【令和6年度まで】	港南区小学校長会(小坪小学校 校長)
大竹 豪【令和7年度から】	港南区小学校長会(日野小学校 校長)
徳原 太郎	港南警察署
山口 治彦	港南消防署
小林 仁【令和6年度まで】	港南区役所(港南区福祉保健センター長)
遠藤 寛子【令和7年度から】	
遠藤 寛子【令和6年度まで】	港南区役所(港南区福祉保健センター担当部長)
佐藤 修一【令和7年度から】	
川合 裕子【令和6年度まで】	港南区役所(港南区副区長)
富岡 淳【令和7年度から】	
松崎 尚紀【令和6年度まで】	港南区役所(港南土木事務所長)
佐藤 智也【令和7年度から】	

令和7年12月現在

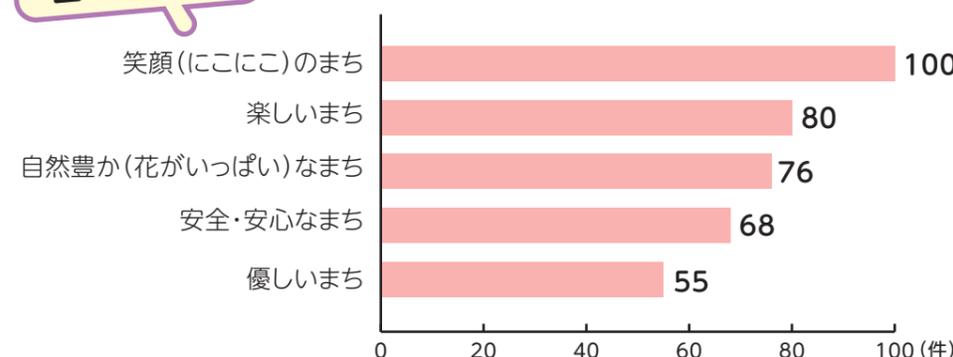
2 港南ひまわりプランの推進と区民の皆さんからいただいたご意見

令和4年度

子どもたちに「港南区がどんなまちになったら良いと思うか」をカードに記載してもらいました。

日にち	主な参加者
8月~12月	イベント等に参加した子どもたち

主なご意見



令和5年度

第4期計画の中間振り返りとして、区民の皆さん、事業所の人、多分野の専門職、見守り活動をされている人や委嘱委員など地域で活動されている人(地域活動者)にご参加いただき、グループインタビューを実施しました。

日にち	主な参加者
11月 2日	福祉・医療・教育・まちづくり等、分野の異なる専門職の皆さん
11月 7日	多様な地域活動者、ボランティアの皆さん
11月16日	港南区地域福祉保健推進協議会委員の皆さん
11月27日	商店・企業・見守り協力事業者の皆さん
12月16日	区民の皆さん(しゃべっCiao♪として開催)

主なご意見

- ちょっとしたおしゃべりの場などの居場所が必要。
- 迷惑をかけてもお互いさま。
- 困りごとをオープンにすると楽になるが、受け止めてもらえるか心配もある。
- 困っていることを上手く伝えられない、助けてと発信できない人たちがいる。
- 障がいのある子どもの保護者は、地域とのつながりが薄いと感じる人も多い。
- ちょっとしたことに困っている高齢者が多い。周囲も高齢化して頼める人がいない。
- 自分の暮らす地域に愛着をもって欲しい。それがまちの活性化につながる。
- 偏見がない地域をつくっていくことが大切。
- いろいろな団体とつながることが大切。



令和6年度

第4期計画の中間振り返りで見えた課題に対し、小学生から大学生までの子どもたちにご参加いただき、こども版しゃべっCiao♪を初めて開催したほか、区民の皆さん、地域活動者、事業者といったあらゆる立場の人々にご参加いただき、グループヒアリング等を実施しました。

日にち	主な参加者
7月17日、11月6日、2月19日	港南区地域福祉保健推進協議会委員の皆さん
8月26日	子どもたち(こども版しゃべっCiao♪として開催)
9月13日、10月2日、15日	様々な分野で活動されている区民の皆さん
10月 7日	港南ひまわりプラン応援補助金交付団体の皆さん
12月21日	区民の皆さん(しゃべっCiao♪として開催)

主なご意見

- 団体同士がつながることで、互いの持つスキルや知識を共有でき、さらに活動の幅が広がる。
- 「知る」ということはとても重要。
- お祭りは地域を“故郷”と思ってもらえる良い機会となる。
- コミュニケーションの機会を持つことが大事。
- 困っている人と一緒に何か活動できるといい。
- ちょっとしたことを話せる知り合いをつくる。
- 地域活動は自分自身が楽しむことが、やりがいにつながる。
- 人とのつながりがあると、ふるさとと感じられる。
- 思い出に残る行事を続けていくことでふるさとになる。
- イベントへの参加から活動の仲間になってくれる人もいる。
- 学生や若い人にどうしたら興味をもってもらえるのだろうか。

みんなのご意見
×モ×モ……



令和7年度

地域ケアプラザのお祭りや「こうなん子どもゆめワールド」で港南ひまわりプランに関するアンケートを実施し、子どもたちには「楽しいと思うこと」、大人には「普段の暮らしの中で、どんなときに幸せを感じるか」を伺いました。

(アンケート総数: 1,371件)

主なご意見

子ども

- 友だちと遊んでいるとき
- 地域のお祭り
- 学校・習いごと



おとな

- 家族・子どもと過ごしているとき
- 健康でいられるとき
- おいしいものを食べているとき



3 第4期計画の期間を振り返って

- 地域活動が活発に行われ、障がい者をはじめ様々な人が参加する機会が増えました。日頃からの声かけや災害時の助け合いの仕組みづくりも進みました。
- 港南区では自然豊かで歴史的な文化や景色を大切に「ふるさと港南」を愛する心が育まれています。私たちの大切なまちとなるように地域を知り、理解を深めることが求められています。
- 地域にある福祉施設やお店、お寺などが地域のことを考えて、支えあう活動をはじめています。新たな地域活動の担い手としての期待が高まっています。
- 困りごとを抱えていても助けを求めることが難しい人がいることや、多様な課題に対する理解を深め、共感することができる地域が必要とされています。
- 地域活動に参加することや活動を始めることにためらう人がいます。自分の声を聞いてもらえる機会が増えることや、自分のできることや立場などを生かしてまちづくりに関わることを求められています。
- 地域で活動する様々な団体について、高齢化や担い手不足の悩みがある一方で、新たな活動団体も増えています。既存の団体を支援するとともに、新しく活動を始める人たちも含めた団体同士や地域とのつながりを強めるような働きかけが必要とされています。

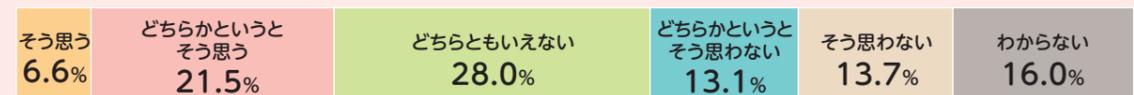


▲左上:こども版しゃべっCiao♪ 右上:グループヒアリング 中央:しゃべっCiao♪
左下:港南ひまわりプラン応援補助金団体交流会 右下:港南区地域福祉保健推進協議会

港南区のいま

令和7年度 港南区区民意識調査より

「困ったときにはお互いに支え合う、地域でのつながりがある」と思いますか?



4 第5期港南ひまわりプラン素案 区民意見募集

多くの区民の皆さんから、貴重なご意見やご提案等を沢山いただきました。

募集期間 令和7年8月1日(金)～8月31日(日)

周知方法 (1)素案冊子、概要版リーフレット、こども版ちらしの配布
(2)区ホームページやSNS(LINE、X)等による広報

回答方法 横浜市電子申請システム／電子メール／「みんなの声カード」

寄せられたご意見(総数)

〈内訳〉横浜市電子申請システム 42人
電子メール 4人
「みんなの声カード」 235人



■ご意見をお寄せいただいた人の年代

年齢別回答数(人数)										こども版での回答				
19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	未回答	就学前	小学生	中学生	高校生	未回答
2	9	14	28	37	29	40	17	1	3	2	79	15	2	3

■お寄せいただいたご意見の分類

分類	対応	延べ件数
A	意見を踏まえ、第5期に反映するもの(冊子全体版等への掲載含む)	14件
B	意見の趣旨が素案に含まれているもの、または素案に賛同いただいたもの	118件
C	今後の参考とさせていただくもの(関係機関と共有するもの含む)	76件
D	その他(質問・感想等)	16件

こどもからの意見 ひまわりのイメージ図について、どう思う？

思いやりがあつての4つのアクションがあるから、いいと思います。こーなんのひまわりになんていいです!

思いやりにもいろいろなめかたくさんささうていいとおもいました。

4つのアクションが思いやりを台にして笑顔を作らせる、というイメージがやさしくてとてもいいと思います!!

目標が思いやりにつながるのか、つたわった。

地面が思いやりなのがいいと思います



5 第5期 港南ひまわりプランの推進について

区民の皆さん、活動団体等、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所が協働して、目標や取組を踏まえて、活動を進めていきます。また、様々な場面で区民の皆さんのご意見を伺いながら取り組んでいきます。

1 区計画の推進体制

地域の代表者や行政等で構成される「港南区地域福祉保健推進協議会」において、区計画の推進や振り返りを協議していきます。



2 地区別計画の推進体制

15の連合自治会町内会・地区社会福祉協議会の地区ごとに、状況は異なります。

地域の活動団体などが中心となり、意見交換会等を行いながら地域の皆さん一人ひとりの参加をもとに、活動・取組を進めていきます。

※地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所が、「地域支援チーム」を組んで地域活動を支援していきます。



3 スケジュール

第5期計画は、毎年度、各活動・取組を推進するとともに、振り返りを行います。また、次期計画については、令和11年度から検討を行う予定です。



6 港南ひまわりプランの成長記録

開始前 ～H17年度 (～2005年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 港南区地域福祉保健計画の策定に着手 ● 港南区地域福祉保健推進会議(現、港南区地域福祉保健推進協議会)による検討を開始 (策定委員会を10回、課題別分科会を8回開催)
第1期 H18～22年度 (2006～2010年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 港南区地域福祉保健計画がスタート ● 区内全地区において、第2期計画に向けて地区別の地域福祉保健計画の策定を開始
第2期 H23～27年度 (2011～2015年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2期区計画とあわせ、地区別の地域福祉保健計画がスタート ● 第2期計画から、「地域福祉保健計画」と社会福祉協議会が呼びかけて策定する「地域福祉活動計画」を一体化 ● 港南区地域福祉保健推進会議、港南区地域福祉保健計画策定・推進委員会、港南区包括支援センター部会を統合し、港南区地域福祉保健推進協議会へ ● 港南区地域福祉保健計画の愛称を募集し「港南ひまわりプラン」に決定
第3期 H28～R2年度 (2016～2020年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「港南ひまわりプラン応援補助金」の交付を開始 ● 「港南ひまわりプラン応援補助金申請団体交流カフェ」を開催 ● 区全体の活動・課題等の共有を目的とした「しゃべっCiao♪」を開催 ● 地域ケアプラザに緊急連絡先などを登録する「ひまわりホルダー」の取組が区内の全地域ケアプラザで開始 ● 区内の事業者がゆるやかな見守りを行う「見守り協力事業者」の取組を開始 ● 港南ひまわりプラン推進キャラクター「こなちゃん」誕生
第4期 R3～7年度 (2021～2025年度)	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画やラッピングバス等による港南ひまわりプランの周知 ● こども版しゃべっCiao♪を開催 ● 港南ひまわりプラン応援補助金団体交流会を開催 ● こうなん子どもゆめワールドや地域ケアプラザまつり等における港南ひまわりプラン啓発

7 地域ケアプラザ

名称	電話番号	FAX番号
港南台地域ケアプラザ	045-834-3141	045-834-3145
東永谷地域ケアプラザ	045-826-1097	045-826-1071
下永谷地域ケアプラザ	045-826-2640	045-826-2641
野庭地域ケアプラザ	045-848-0111	045-848-0106
日下地域ケアプラザ	045-843-3555	045-843-2400
港南中央地域ケアプラザ	045-845-4100	045-845-4155
日野南地域ケアプラザ	045-836-1801	045-836-1813
芹が谷地域ケアプラザ	045-828-5181	045-828-5182
日限山地域ケアプラザ	045-827-1870	045-827-1872
上永谷駅前地域ケアプラザ	045-840-1260	045-840-1263

▼詳しくはこちら



地域ケアプラザで行っている港南区独自の取組

見守り協力事業者

ふだんの暮らしの中で「あいさつ」や「声かけ」をきっかけに、ゆるやかな見守りに協力していただいている事業者の皆さんです。



▲「見守り協力事業者」ステッカー

万が一のお守り「ひまわりホルダー」

万が一のときに、病院や警察が地域ケアプラザに連絡することで、身元・緊急連絡先・かかりつけ医などの情報を確認することができる、いざという時のお守りです。



▲ひまわりホルダー

港南区のいま

港南区の年齢3区分別人口

	港南区		(参考)横浜市	
合計	211,711人		3,769,584人	
0～14歳	22,155人	10.7%	409,362人	11.2%
15～64歳	123,807人	59.6%	2,326,538人	63.4%
65歳以上	61,795人	29.7%	934,895人	25.5%

※国勢調査をもとにした推計人口(令和7年1月1日現在)
 ※各データを四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります
 ※合計には「年齢不詳」を含みます



▲詳しくはこちら

